

バルチック海を遶らし南は日耳曼に連り普魯士に接す人口百八十六萬千人此他殖民地の人口十二萬八千九百人を有し北緯五十四度三十三分より五十七度四十五分東經八度五分より十二度四十五分に位す○此國一千八百五十二年倫敦の會盟定約に於てルッセードセルスウビツク及ヒホルステンの侯國は此國に屬し日耳曼同盟の内に加りしか一千八百六十六年普魯士、墺地利の大軍と戦ひ利あらずして同年八月二十日ブラーグに於て和睦條約をなし右兩侯國を普魯士に割與し日耳曼帝國に屬せり全國地勢概ね平坦にして低窪潯澤の地多く北部は海面より低下して堤防を築き海水を防ぐ東部は漸く高く海面を抜くこと五百フヒートの地あり此國元來島嶼を以て成りたるものなれば海峡甚た多く之れをソンドと云ふ河流は甚た稀少なり○氣候は濕地多きか故に寒冷にして煙霧多し然れとも土地低くして常に海氣を受くるか故に南方にある日

耳曼地方よりは却て寒氣少し寒暑計平均四十六度餘年中最短日は一日六時間餘最長日は十七時間餘なりと云ふ○此國は農業を専らとし主として民力を農事に用ゆ國中凡そ三分の二は耕地にして穀物を主とし國內の需用に餘贏あり石炭の利に薄く水力に乏きを以て製作場甚た少し然れともボンホルム島より陶器を作る土を産す故に重もに陶器を製造し其他硝子細工、カルタ色紙、リンネル、鐵細工等を製出す○輸出は穀物、乾酪、牛酪、牛馬獸毛等とす○輸入品は砂糖、葡萄酒、火酒類、藥品、綿、麻、亞麻、材木、石炭、咖啡、茶、煙草等なり○輸入の金高は一千八百七十五年に三億一千五百萬法輸出の金高は二億三千七百○七萬五千法商船の數は千八百七十六年に三千二百艘内百六十九艘汽船にして馬力一萬千五百噸數二十五萬六百四十三噸とす○歳入は一千八百七十八年に四千七百七十六萬千三百五十クロネー歳出は四千百四十五萬七千六百八十一クロネー一千

八百七十六年準備金の高三千四百三十四萬クロネー○國債は年々に減少に赴き一千八百七十二年に一億二千三百〇三萬二千六百十二クロネー一千八百六十六年より一億八十萬六千を減却す○政體は君民共治の立憲たり一千六百六十年代の頃より貴族自然と權力を得て政權を專にし往々虐政を行ふに至る此に於て人民僧侶と相謀りフレデリッキ三世を奉して獨裁の權を付し襲世の君位に即かしむ一千八百三十一年フレデリッキ六世の時に當り大に時勢を洞察して國政を改革し元老院を設立して大政を議せしむ然るに元老院又權を専らにし往々專制の弊あるを以て國民怨望す一千八百四十九年フレデリッキ七世に至り更に憲法を立て上下兩院を置き全く君民共治の政體とはなりたり○議院は一年に兩度之を開き權力頗る強し開會中日當を給す上院の議員は六十六人内十二人は國王自ら命する所にして終身官たり此餘は八ヶ年毎に改選

す上院議員は相當の財産を有し名望ありて年齢適當の者にあらされは之れに任するを得す下院は百二人とし各州の人口によりて差異あり三年毎に改選す年齢の規則は上院の如しと雖も財産の多少に拘ることなし國王は神聖とし宰相七人を置て各其責に任せしむ宰相の賞罰は議院の許可を得るにあらされは行ふを得す○此國古の歴史は分明ならず人種は瑞典諾威の民と同人種にてスカンジナビーの種族たり強健にして戰鬪を好み操舟に長す往古は専ら海賊を業とし八百二十年頃に至て始めて世に顯る此國の始祖たる人は基督教の強敵にて隣邦を蠶食し境土を廣め九百三十五年に死す當時ノルマン人海賊を働き以て諸國に侵入す噠國は内亂相續て國勢衰へ變して封建となれり豪族各處に割據し人民虐政に堪へす其後クヌード六世ハルテマール二世の時代に至りては隣國を侵略し進て日耳曼に入りバルチック海濱は概ね此國の版圖に屬

し國勢頗る強し此時に當りて日耳曼皇族噠嗎の貴族と相謀て此國を奪んとす一千二百四十一年にバルギマール二世卒し其後百年間内亂大に起り殆んと亡んとす其後バルギマール三世に及て内治を起し國勢を挽回したれとも永く維持するを得ず此人一千三百七十五年に卒去し女子マルガレット立つ賢明にして國內統治の道を得瑞典諾威の人心も亦之れに歸しカルマルノ會盟に於て遂に三國を合併して之れに王たり元來噠嗎國の王位は國民の選舉にて繼續するを此國の古法とす一千四百四十八年クリストフワトハビエール王死す此時に至り國民國王公選の大權を挽回し噠瑞諾の會議によりてクリシチャンアルデンブル侯を選舉して國王の位に即かしむ此王の血統聯綿繼續してフレデリック七世に至れりクリシチャン二世に至り政令公平ならざるより民望を失ひ遂に内亂起り王は和蘭に遁れ瑞典の怨を受け王位を失ふ人民則ちフレデ

リック二世を公選す此騷擾に乗してギユスターブ一世獨立して噠嗎の内より瑞典國を立つ其後内亂屢起り或は外國と戦ひ勝敗得失幾多の沿革ありて一千五百八十八年にクリシチャン四世位に即く此人頗る賢哲にして能く國政に當ると雖も國內貴族の弊害によりて瑞典にある所の屬地を失ひ爲めに國勢衰微せり一千六百六十年フレデリック三世のときに至り人民國勢の衰頹を憤慨し國王を助けて貴族の權を抑制し王權を擴張す其後政府の權概ね日耳曼人の手に移り凡そ百年間下民は奴隸の如く使役せられ中流人も亦頗る困難を受たりクリシチャン七世立つに及んで奴隸の法を廢せんとし二十年間を経て遂に之れを實施することを得たり拿破侖一世の起るやフレデリック六世佛國に與みして英魯瑞普と戦ひ國力漸く疲弊に赴く一千八百一年に英將の爲めにコッパヌハーゲン府を侵襲せられ大に掠奪損害を蒙り一千八百七年九月再ひ攻

撃を受け首都を毀損し悉く海軍を奪はれ國力大に疲弊し如何ともする能はざるに至る此時諾威を瑞典に略取せられたりフレデリッキ七世位に即くに及んでスレスウビツク及びホルステン反逆をなす一千八百四十九年犯者を平定す此時に當り政府の組織を改革し人民に稍や權力を與ふ然れとも人民の不平未だ全く消するに至らす一千八百六十三年フレデリッキ七世歿すスレスウビツク、ホルステンの皇族クリシチャン九世位に即く夫れよりしてスレスウビツク、ホルステンの疑難起り普國、瑞典と相謀りスレスウビツク、ホルステンを日耳曼連邦に屬せんとす噫嗚國に於ては大に之れを憤怒し外國の援助を得て兩國に抗せんとせしに遂に外助を得ず獨力を以て普國に抗し戦ひ最も勤む然れとも衆寡敵せず遂に和睦を乞ふに至る而して此事件をば普、瑞典兩國の處置する處に任せたり而るに此處分により普、瑞典兩國の間に不和を生し一千八百六十九

年普國遂に瑞典に勝ちスレスウビツク、ホルステンは全く普國に附屬せり以上の沿革によりて今時小國となると雖も國民憤勵業を勉め自立の精神甚だ旺にして歐洲中に於ても商業盛大に教育普及し國事愓て能く整理したる國と稱せらる

○首都コッパヌハーグンは自國にてはキョーペンハーブンと云ふ蓋し商人の港と云ふ意味なり位地はスエーランド島にありて北緯五十五度四十一分東經十二度三十五分に位し人口二十三萬三千人一千八百七十六年の調土地甚だ低く一千八百六十四年迄は堅牢なる砲臺を周築して嚴に防禦せしか今は僅に存するのみ○商業の盛なる處は港灣より東北にあり此には庭園を開きニットルブと號す此邊最も繁華の地たり夫れより尙ほ東北の街には豪商貴紳の邸第高閣櫓を連ぬ北方には壘墩あり且つ清美なる公園を造りて海岸を廻る○市街にて主もなる建物はカテドラルボー

ルフルユキルク寺及びヒツリニタヌキルク寺、海底電信本社、クリシチャ
ンボールの王宮、サンニコラ寺等を主とし、其他大學校、書籍館、博物館等有
名なるもの多し、博物館には北氷洋諸州の物品を蒐集し、風俗を示し、頗る
全備せり。○一千八百六十年、埃普戰爭の後、更に市街を修營し、商運を挽回
して、近時益商業繁榮に赴けり、故に古代の建築は其跡を存する甚た稀な
り、港口は狭少なれとも、内部甚た廣く、大船一千餘艘を碇泊せしむへし、年
々入船の數は八千艘より九千艘に至る。○製造所は大砲、造船、羅紗、糸、革、帆
木綿、陶器、煙草、鎔鐵、麥酒、火酒等の場所あり。○外國へ輸出するものは穀物、
牛酪、乾酪、牛羊毛、革及び大小時辰儀等とし、畜類は主もに英國に輸出せり。
○午後二時、駕して處々見物す。○博物館ミユゼウムトルバはは一千八百四十六
年國民の造設する所なり、此館には中庭を開き、此に有名なる彫刻師トル
バルドサンの石碑あり、此人一千七百四十年に生れ、一千八百四十四年に

死す、館内に自ら彫する處のもの六百四十八箇を藏す、此内に耶蘇十二門
弟の像あり、五百五十の下た畫あり、其他諸人の下た畫并に三百の油繪あ
り、紀元四五百年前の希臘及び羅馬、埃及等の古物、金錢等を蒐集す。○古物
館ミユゼウムトルバははパレーデブランヌ家の内にあり、一千八百五十二
年の建設に係り、今時一萬二千の古器物を貯藏し、之れを二十室に收め、並
列規定あり、此れは石銅鐵の時代によりて三區に分ち、スカンジナビー國
往古の歴史を分明ならしむ、第一の室を石の時代とし、戦具、劔槍、其他諸器
物皆石を以て作る、即ち昔石の時代に生せしものと云ふ、其次を銅の時代
とし、楯、刀及び壺類、置物等あり、即ち銅の時代に生せしものと云ふ、其次を
鐵にて作りたる物品を集む、五百年より千年間の物にて、即ち鐵の時代と
稱す、其他歴史に關する物品を集む、壁の飾りは多く佛國產のゴフランを
張る、畫額も亦名筆多く、其他陶器、金、銀、石、鐵、象牙細工等數多あり、シャール

十二世の刀劔クリンチャン五世戦功の繪圖純銀の椅子等は最も著きものにて其他戎具賞牌歴代の古器物等枚舉に遑あらず夫れより海岸にある園又市街を巡覽して七時寓に歸る

五日 (晴土曜)

午前十時三十分より處々巡見す○博物館 ラミエゼイクトノグ は三層の樓屋にて室を分つ三十五此中に歐羅巴の北洋中にある氷洲綠洲又東西印度南東洋の諸島異俗の諸物人像風土衣服什器冬夏居住の狀を造り又南亞米利加の諸民俗日本暹羅支那波斯土耳其等の器具衣服戎具を排列す之れを民種學の博物館と名付く氷洲は北大洋中の一島にて綠洲は歐米兩洲の間にあり皆噠嗎所轄の地たり風土の摸樣居住の狀況眞に其地を想像するに足るへし南亞米利加ブラジール國の酋長の首級を乾物となしたるものあり頭骨を抜き焼石にて生肉を燒堅めたるものにて首の大き

さ一拳に過ぎず顔色漆黒にして頭髮甚だ長く鼻高く齒白く唯形ちの小なるのみにて形容宛然生るか如く一視慘然殘酷と云へし亞非利加のツール國に用ゆる鎗あり惣て鋼鐵にして長さ二メートル半もあるへし最も銳器と稱す先年拿破侖三世の長子フランスアンペリヤール此地に來遊せしとき之れを一見して曰く銳鋒恐るへしと後ち英軍の士官となりツール國を攻撃するに際し遂に此鎗に係り戰死せりと云ふ日本の物件も頗る多く甚だ備はれり本館取締役ジュエチヌラードステンホエなる人出て案内し日本諸物の陳列場に至り甲冑刀劔の裝飾用法等を尋問せり蓋し日本の物品は悉く此人の蒐集する所なり巡覽畢て同人予か一行を其家に誘き記名を求め且つ予か妻に與ふるに娘の寫眞を以てし本日予か此に來觀せしを満足する旨を述へ懇慫に待遇せり○クリンチャンホール宮は市街の南にあり運河を以て繞匝す一千八百三十年の改築に

係り廣大なる額堂及び書籍館を具すサールドシヨパリエーと號する室を最も珍らしきものとし玲瓏たる大石柱凡そ十六箇入口の間には有名なる畫工トルバルダソンのフレスク畫の大額あり長さ百メートル此圖は亞歷山王バビロンに巡幸する處にて一行三百人非常の壯觀を呈す又神壇の清麗なるものあり其他ホルツクの彫刻トルバルダソンの掘り出しの鐫彫及び銅像の作等非凡のもの頗る多し○府の西郊なるフレデリッキスベール園を過ぐ園内馬車を入れず門前より車を下りて歩す是れはフレデリッキ五世の築きし庭園なり丘岡によりて域内廣く巨樹陰森として中に王宮あり今は兵營となせり惣て清潔を欠く所多し九時旅寓に歸る

六日 (晴日曜)

午後六時二十分旅亭を發し七時二十分の汽車にて日耳曼ハンブール港

に向ふ府を出れば郊原開豁一望窮りなく麥隴菜畝或は叢林の點在するあり又草原に放牧をなすあり八時四十分夕陽將に西郊に没せんとし淡雲半は之れを掩ふ景象恰も錦の如く車窓の眺望亦佳なりと云へし十時コルソエに着す此處は噠嗎國シーランドの東南グランベルトの海岸にありてハンブール港に渡航する處なり汽車此地に達するや乗客争ふて船に赴き早く部室を定んとし船内一時混雜を極む程なく解纜す暗夜見る處なし

七日 (雨又晴月曜)

午前九時四十分日耳曼ハンブール港に達し直ちに上陸駕して旅亭ホテルに投す

○早堡ハンブルは日耳曼聯邦の一にして共和獨立の都府たりエルブ河の北濱に於て數區の地を有す惣地面積百五十六方英里一千八百七十五年に全管

の人口三十八萬八千三百十八人ハンプブル港市街内外の人口三十四萬八千四百四十七人府中に共和の政府を設け獨立の法律をなして聯邦に加はり政廳には州會議員の内より十八人を選擧して行政事務を委任す此内半数は法律學士餘は商人より選舉す終身議員を勤む之れを上院とし正副大統領の如きものを置て上院の事務を總轄せしむ公選にして奉職二ケ年とす下院は立法の權を有し議員百九十二人六年を一期とし三年毎とに其半数を改選す而して日耳曼帝國々會議員には法律により三名を出す當府は北緯五十三度三十二分東經九度五十八分に位す八百四年代に於てシャルレマン帝の經營に係るフレデリッキ一世のときエルプ河の通船を許し外國船に入港税を課する法を設け大に商業隆盛の基を開く爾來貿易の盛んなること唯に日耳曼第一たるのみならず歐州大陸に於て眼目の要港となれり○抑もハンプブル國沿革の概略を聞くに

中古和蘭噠嗎等と屢戰爭し互に勝敗あり日耳曼帝の勢援を得て國權を損するに至す一千七百六十八年噠嗎との戰爭收まりしより一千七百九十九年迄は國內大に治り貿易繁榮なりしか拿破命の起るに當り一千八百二年より同十四年迄の間佛國に屬し商業上に一大變動を生せり拿破命は大に此港に注目し砲壘を築き防守を嚴にせり歐洲大陸に令して英國と通商を絶しめしめ要港の一に居一千八百十三年及び十四年に魯國の兵佛の戍兵を圍むに及んで市民大に困難し飢寒に迫り死亡に至るもの夥し拿破命の騷亂畢りて日耳曼聯邦に入り一千八百四十六年迄昔時の如く商業繁榮す日耳曼聯邦に入り如く獨立の全權を有する能はず其大約を擧ぐれば自國の軍旗を用ゆるを得ず外國へ公使領事を派遣するを得ず人民丁年に至れば帝國一般の兵役に服せざるを得ざる等國の如き市府に於ても昔日の如くなること能はず然れとも港内課税法の如きは従前の如く外國の物品に税を課せざる等特別自由の權を有す故に市府の繁榮は依然として變ずることなし此時に當りて府中に大火ありて炎燒三晝夜市街三分の一を燒燼す然るに此大不幸は却て將來益市府旺盛の原因となり家屋の建築は惣て

宏壯美麗に移り市街の景況大に面目を改め貿易日を逐ふて隆盛に赴き百萬の外商日夜跡を絶さるに至れり○一千八百七十六年に各國入船の數四千九百九十一艘二百十八萬四千五十一噸其内二千九百三艘百七十二萬千四十八噸を汽船とす當港に所有する船舶四百三十九艘十九萬六千餘噸此内九十六艘八萬三千八百二十六噸を汽船とす此船舶は五會社に屬し南北亞米利加及び印度地方に往復す輸入品の數は二十年前に比すれば三倍の多きを加ふ一千八百六十九年より一千八百七十三年の間年々輸入の金高平均十九億六千七百萬法同七十五年には二十一億二千六百二十五萬法に至る其輸入品の主たるものは印度亞非利加南亞米利加地方の産物牛皮牛肉牛酪獸毛綿織物金屬石及び染料等とす輸出の金は分明ならず○製造物は甚た多數ならず平均一ケ年に六千二百五十萬法に上らす此内重なるものは卷煙草麥酒火酒類造船器械等とす○

當港は日耳曼地方より外國へ移住するもの、最も多く乗船する處なり一千八百七十年より一千八百七十四年の間に移住乗船人の數無慮三十萬人概ね北亞米利加地方へ移るもの多し○歳入は一千八百七十四年に二千四百五十六萬二千五百法支出も亦同し府債は一千八百七十四年に一億五千三十萬法○當港は倫敦に亞て咖啡の大市場なり且つ歐洲第一の相場所たり銀行の大なるもの及び船積保險會社あり一千八百七十二年に保險受負の金高三十七億五千萬法又宏大なる救濟院アルムハウ大病院患者千八百人猶太宗の病院貧兒院宏壯美麗なる相場會所日々六千人餘此に集會すると云ふ寺院額堂植物園禽獸園書籍館司天臺芝居遊園等悉く完備せり○教育は甚た進歩し大中小學の設け整備して府廳に屬するものあり人民共有のものあり宗教はプロテスタントを奉す○午後四時より駕して處々巡覽す當港は伯林に亞く第一の都會にて屋造宏麗市街清潔なり縦横に運河

を通し沼池を湛ゆ河岸は一層の繁華を極め又無數の船舶は港岸に蟻集し帆檣林立して岸下尺地を餘さず恰も森林の傍らを過くるか如し岸上には百有餘間の長廊を造り且つ鐵路を敷て汽車驛に通し以て荷物を地方に運送する所の廩舎とす貿易旺盛の状況實に豫想の外に出たり府の中央に方形の池ありアルステルと號す三面の岸に廣街を開き一面は鐵橋を架し汽車道を造り岸頭に樹を栽え庭を造り池上には遊船を浮ふ諸貨の市店は争ふて華美を裝ひ衣服器具金銀寶玉の細工専ら此に集る高閣巍樓は皎然として池水に鑑み夜は瓦斯燈方池の周圍に星列し橋上は特に數多の燈を點し向岸酒樓の瓦斯と相對照して千點の光輝白日より明かなり誠に府中第一の勝地たり○禽獸園に至る地域廣く山野の趣をなす岩石を疊みて古城の形を造り中に鷗鳥の類を養ふ或は大園を設け金網を張り猛獸巨鳥を養ひ又池を回らして各種の水禽を放てり水族館

も亦完備せり庭園の構造風致に富み頗る盤遊に適せり○パノラマを一見す普佛戰爭の圖にして結構整備せり○路を轉して沼湖の岸に沿ひ散驅す一條の廣道岸を回り樹木路を挟む途上白沙を敷き車輪の響き穩なり傍らに清麗なる家屋あり沼池に對す即ち富豪紳士の別墅にして庭苑を廻らし碧草芳花を栽え巧に噴水を作る芳花壁を攀ち綠葉屋を纏ふ家々皆適意の裝致をなし清潔閑雅別天地の趣きをなせり夫れより市街を廻り八時強寓に歸る

八日 (晴火曜)

午前十時より惣して諸處巡觀す○サンマコラ寺は府中の大寺なり此れは六百餘年前開基の古寺なりしか一千八百四十二年の大火に罹り焼失し接近の市街も概ね烏有となれり其後府民火災の記念として蘇格風に之れを改築し四十年前に落成す入費五百萬法なり最も宏壯なる大建築

なれともプロテスタント宗なるか故に美麗なる裝飾をなさす此寺の尖塔は歐洲第一の高塔にして高さ四百八十三フット府中眼目の觀たり○市街も火災後數千萬金の公債を起して之れを改築し宏壯清麗なる市店を再建す繁華の場所は皆此新營にかゝる物なり○ガルリータプロイ堂には大小油繪の名筆頗る多し○食舖に過り午餐を辨し又駕して府外に出てエルプ河岸に沿ふて馳す道路平坦にして車轢も亦穩かなり此日や風日清美にして自から心志の爽快なるを覺ふ馳すること凡そ二時間ブランケーズに至りゴエー氏の囿園を一覽す老樹蔚葱として境域廣く山水の景色を占領し眺望甚た佳しゴエー氏は今を去ること十五年前迄は貧窶の人なりしか偶ま鳥糞を賣買することを始め且つ相場上に於て巨利を得目今一億五千萬マルク佛貨一億八千七百五十萬法に剩る富をなしたりと云ふ此處を去り尙ほ馳すること十分間にして一の酒店前に至り車を下り酒

舖の後苑に至れば樹林の間に若干の榻案を設けたり此にて休憩麥酒を喫す此處は河流に沿ふたる一勝地にして汽船時に來往し向岸は岡巒叢林相錯り或は平地によりて隴畝をなす景色吾か淀川に彷彿たり暫くして車を返し歸途に就く六時同河岸の食舖に過きり庭前にて晚餐を辨す此處は前時の眺望に勝ること數等遊客も亦多し餐畢て同處を出又河岸を馳す此邊河に沿ひ山によりて富豪の別墅を營むもの多く惣て閑雅清潔にして或は森林をなし或は花苑を修め碧翠嬌花目を歡はし心を娛ましむ亦佳勝の清地たり○府に歸れば既に八時なり是れより直ちに馬芝居に至る伎藝最も妙に入り唯馬術を演ずるのみならず象犬猿も亦各自在に藝を爲す觀客皆意外の興に入り拍手滿場頗る喝采を得たり演止み十一時寓に歸る○馬芝居の近傍は深更に及ふも遊人輻湊し千點の瓦斯白晝を欺き老幼婦女相伴ひ或は榻により或は酒店に過きり各適意の遊

樂をなし最も繁華を極む

九日 (晴水曜)

午後三時より近傍市街を散歩し又駕して府外に散驅し又山林の間を歩いて某邑園に至り一憩し又處々を散驅して六時三十分寓に歸る○十時十五分旅亭を發す是れより近路を取り佛國ハーブル港に出んとす十一時發車す夜半廣原を駛す平野茫茫天際に連り四方寂寞として唯車轢の響きを聞くのみ

十日 (晴木曜)

午前七時四十分日耳曼國コルン驛に着車此處にて汽車を變換す其間茶店に入り茶菓を喫し畢て乗車八時三十分發車十時四十分日耳曼ッペルビエー驛に着車此處は日耳曼と白耳義との國境にして日耳曼税關のある處なり十時十分同處を發車し暫く山水景勝の地を駛行す車窓の觀望

亦佳絶なり午後二時白耳義國の首都ブルッセル府に達す此にて午餐を辨し馬車に駕して市中を巡覽す昨年遊覽せしにより重て此に記述せず夫れより直ちに某汽車場に至り發車を待つ七時四十五分發車是れより佛國アミアン府の線路に出つ此線路は則ち間道にして頗る煩雜殊更夜に際し汽車を乗り替ゆること數回動もすれば方向を失し線路を誤らんとす須臾くも眠を得す

十一日 (晴金曜)

午前二時アミアン驛に達し旅亭ホテルドリュリに至る
○アミアンは佛蘭西ソム縣の首都なり人口六萬三千八百人此地は高僧ピエールエルミットの生れし土地なり此僧は歐洲に於て基督教を振興し宗教の爲めに遠く亞細亞地方に赴きし人なり○大學校、書籍館、博物館、公園地等の設け備り書籍館には五萬三千卷を藏す○製造物は綿、天、蠶、絨

リンネル、羅紗、木綿、染物、砂糖、石鹼、革、紙等にして商業も亦盛んなり○午前九時三十分旅亭を發し同四十五分發の汽車にてハーブル港に向ふ車中にて午餐を喫し三時ハーブルに達す駕して旅舎ホテルに投宿す○ハーブルは佛國セーヌアンペリヨール縣第二の都會にて馬塞マセに亞くへき要港たり北緯四十九度二十分東經零六分三十七分に位す巴里より西北百八英里を隔つ英蘭獨葡南北米印度等と貿易交通の要港にして猶ほ英國リパプール港に於るか如し○昔此市街は只漁家のみなりしか一千五百九年路易十二世のとき市街を造營し漸次人口増殖し近年に至ては百貨輻湊し商業益繁榮の一都會となり港灣は左右に砲臺を築き以て守衛をなし又二條に石を疊みて長く築出し入船に便す港内には船渠數多あり大船五百艘を入るへし此船渠の最大なるものをユールと號す廣さ七十萬フヒート又船の修繕場も數多あり此内最大なるものは長さ五

百十五フヒート幅百十二フヒートあり○入船の數は一千八百七十七年に五千九百二十五艘百八十五萬四千二百○二噸内五百艘は當港所有の船舶とす○全國貿易五分の一は此港に於てす毎年外國より綿五十萬俵より六十萬俵を輸入し全國綿の輸入高四分の三は此港による又本國より米國へ輸出する物品は悉く此港に於てせり○輸入品の重なるものは綿、香料、咖啡、茶、砂糖、材木、石炭等とし輸出の品は葡萄酒、火酒、種油、金銀細工等を主とす毎年輸出入の金高合せて二十億萬法稅關收入は一千八百七十四年に二千六十八萬二千五百法なり○製造物は紙、硫酸、煙草、木綿糸、糊、種油、笹絲、諸器械、網具、鹽、砂糖等を製造す惣て製造物の金高七千二百五十萬法なり○建築の著きものは寺院、造船所、製鐵所、兵營、海軍學校、算術學校、書籍館二萬卷、府廳等とす○ホテル、フラスカチー予か旅は當地第一等の客舎にして中庭を開き四方に高樓を起し客室五百有餘規模宏壯にし

て惣て清潔なり踏舞、玉突等の遊戯場に至る迄悉く完備し大小の事務能く整理し後面の各室はアタランチック洋の全面を受け眺望開豁なり樓下は海岸に向ふて酒店を開き境場の廣き百餘人を坐せしむへし此には恒に音楽を奏して遊客の餘興を添ふ又近傍には海水浴の設けあり巴里其他の地方より來遊せるもの多し

十二日 (晴土曜)

午後四時より駕して市中を廻覽す

十三日 (晴日曜)

本日は英、佛、米競舟社員競船の遊あり早朝より來觀するもの甚た多く海岸及び酒店共立錐の地なきに至る夜は旅亭に夜會の催あり踏舞曉に徹す予か一行も招狀を請けしか參會を辭せり

十四日 (曇月曜)

巴里駐劄の公使蜂須賀茂昭に面會を要するに付午後六時四十五分發の汽車にて巴里に向ふ妻は旅亭に留まる本日は佛國共和の大祭祝日により巴里に行くもの甚た多く故に通常列車に乗り盡すを得ず更に別仕立をなす予は此列車に乗するを以て十五分を後れて發車す十二時前巴里に達す停車場を出るや瓦斯滿街到る處白日の如く戸々皆國旗を翻し毎町種々の飾りをなし誠に目醒しき賑ひにて突然別世界に至るの思ひをなせり○本日長之瑞西より此地に來る某旅亭に於て同人に面會し長道の消息も亦詳に聞を得たり○本日ハーブル港に於ても市中甚た賑はひ夜は砲臺に於て煙花を打揚げしと聞けり

十五日 (曇火曜)

午前十一時吾か公使館に至り蜂須賀公使に面會す午餐の饗あり午後三時辭し去る夫れよりパレイロワイヤール街を逍遙し四時サンラザール

汽車驛に至りハーブル行の汽車を待つ六時三十分發車十一時三十分ハーブルに達し直ちに歸寓す長之も共に來る

十六日 (曇水曜)

午前十一時出寓し今回^{アタランチック}歴蘭海航行の郵便船に至り内部を一見す夫れより郵船會社^{トランスマニア}と號す^{トランチック}に至り社長某に面會す○午後三時過より出遊水族館を一見し眺望好き處を散驅して八時強歸寓す

十七日 (晴木曜)

十八日 (晴金曜)

午後十一時郵船ノルマンジー號に乗る長之及び金尾楞嚴送別す一詩を賦す

淹留十日聽潮聲話別樓頭杯酒傾萬里孤帆向鄉去煙波不隔故人情

○ノルマンジー號は佛國ハーブル港と亞米利加^{ニューヨーク}紐育港との間を往復す

るトランスアタランチック會社の郵船にして長さ凡八十間幅七間帆檣四本煙筒二箇を付し六千三百噸七千馬力の巨艦にて船體の宏大堅牢なる裝飾の清潔美麗なる未だ曾て見聞せざる處なり食堂には上等客凡そ二百人を坐せしむへし柱は皆美玲なる大理石を以てし四ヶ所に大鏡を掲げ左右に玻璃窓を開く夜は船中悉く電氣燈を用ひ室内には戸側の柱に機管を付し燈火の消燃甚た自由便利ならしむ又廣堂には樂器を備へ裝飾極て美麗なり此船は新造にて航海漸く今回にて九度に及ふと云ふ

十九日 (曇土曜)

午前六時三十分砲聲一發錨を拔て發す暫く港外に留り八時進航す風波穩なり

二十日 (曇又雨日曜)

逆風波稍や高く船少く動搖す四方烟雨朦朧たり○昨日發船より本日正

午に至る進行四百四十八英里

二十一日 (曇又雨月曜)

逆風船動く○昨二十日正午より今正午迄進行三百七十七英里

二十二日 (烟霧火曜)

逆風船動く拂曉より片帆を揚げ船傾斜す夕刻風浪稍や收る○進行三百八十八英里

二十三日 (烟霧水曜)

午後白浪收る○進行四百英里

二十四日 (曇夕晴木曜)

波あり船動揺す○進行三百八十英里

二十五日 (曇金曜)

風波船動く夜に入り静穏なり○進行三百八十英里

二十六日 (晴土曜)

風波穏なり○進行三百八十四英里○本日は終日穩かにして船客皆歡喜の色あり夜は甲板にて踏舞の催しあり○午後七時紐育より水先案内來る

二十七日 (晴夕雨日曜)

風浪静なり○午餐にシャンパン酒を酌み船將及同乗の客に勸め以て航海の恙なきを祝す○午後より西北遙に青黛の連るを見る則ちロングアイランド長島と云ふ義なり此島の岬角に燈臺あり四時三十分サンジブツクの岬前を過く左にニュージョッセー島を見る惜むらくは雲霧によりて一般の景色を望む能はず七時紐育港岸に達す港口には左右に堅牢なる砲臺を築き防守を嚴にす左をリッシモンと云ひ右をアミルトンと號す港頭の盛況は容易く形容をなし盡しかたし○昨二十六日正午より本日

正午迄進行四百〇六英里正午より着船時迄の里程七十英里〇船港頭に達するや直ちに税吏來り船客の荷物を調査し書面を領取して去る〇此夜船中に宿す

二十八日 (雨月曜)

午前八時三十分上陸旅亭ホテルウイントに至る石造七階の巨屋にして上等の客室には浴室も亦具備せり廣大なること王公の宮殿に勝る歐洲各地と甚た其趣を異にせる處あり〇領事高橋新吉に着を報す午後三時領事來訪晚餐を共にす

〇亞米利加國は一千四百九十二年西班牙人コロンピユスの發見する所の國なり南緯五十三度五十三分北緯七十二度に至る國の長さ最も長き處八千七百五十英里面積千五百九十五萬四千五百五十二方英里人口八千四百三十九萬二千三百人餘全國を三區に分ち北亞米利加中央亞米利加

南亞米利加とす吾か經過する處は則ち北米合衆國の内なり故に只此合衆國に就ての略史及び見聞する處を記述するのみ

〇北米合衆國は北緯二十五度より四十九度の間に位し西經六十六度五十五分より百二十四度四十分の間に位す北はカナダ南はメキシコ東は北壓瀾海西は北太平洋に接す國の最も長き處は太西洋より太平洋に至る迄二千七百六十英里幅員最も廣き處はメインよりフロリダに至る千六百英里一千七百七十六年合衆國の始元に於ては十三州を以て成立せしか一千八百七十年に至ては三十八州となり外に屬地コロンピヤ州其他九ヶ所の地を有し又西印度の地及アラス國等の地あり一千七百八十年に於ては全土面積八十二萬〇六百八十方英里に過ぎさりしに爾來年を逐ふて増加し目今に至りては三百六十萬三千八百四十四方英里の廣域に及へり人口は一千八百七十年に三千八百六十九萬六千九百四十八

人此内黒人種四百八十八萬六千三百八十七人亞米利加印度人三十八萬三千七百十二人支那人六萬三千二百五十四人あり一千八百五十五年より當今に至り支那人の移住する者凡二十萬人餘元來此支那人は非常の廉賃を以て諸般の勞役を勤むるか故に土人の勞力者に妨害を與ふる淺少ならず土人之れか爲め一揆を起し一時騷擾を生せしことあり一千八百七十九年に至ては支那人の移住者を減するの法律を起さんことを議院に出願するに至りしか大統領に於て之れを許さず然るに今回聞く處によれば漸く此法律を實施し支那人に於ては將來事情分明ならざる者は一切居住を謝絶することになしたりと云ふ右の如く人口年を逐ふて増殖し一千八百八十年に於ては人口凡そ五千萬人に及び黒人の南部より西部に移轉するもの六千人ありしと云ふ○世界に於て此國の如き人種の厯雜なる處あらず最初英佛及び蘭、日、瑞西等の人民此國に移住し

各地を開拓す其内英國より移住するもの最も多く日耳曼人之れに次ぐ又開創のときより黒奴を亞非利加より輸致したるを以て黒人の多きこと全國人口七分の一に居る白人種の内に於ては英人最も多く且つ専ら其教育を以て成立したる國なるか故に一般に英語を國語となし制度も概ね英國の制による近來日耳曼語も亦廣まれり南方は又佛語を用ひ西南メキシコ地方は西班牙語を用ゆ一千八百六十年迄は黒奴賣買の習慣ありて合衆國の南部に於いて全部又西部の各州に於いても之れを行へり

○合衆國は亞米利加の中央に位すると雖も凡そ三分の二は湖水或は大洋に濱すアタランチック海濱には紐育灣、チェサピック灣、サマクラジ灣等十有餘の入海ありメキシコ海濱にはタバ灣、モビル灣等の數灣太平洋の濱にはサンバルバラの海峽、サンフランシスコ灣等合せて數ヶ所あり

湖水は大小枚舉に遑あらず此内重なるものを擧ぐればソペリヨ、ミチガン、フロン、エリエー、オンタリオ、シヤンプラン、ソルトレイキ、ピラミット、モノー、トラー等最大湖とす○大河も亦頗る多く四通に大別す即ち其一をミシシッピー河及其支流とし其二をホドソン、ポトマック、サンコロワ等アタランチック洋に注ぐの河川とす其三をアラバマ、ザピンツリニター、リヨグランデー等メキシコ内海に注ぐの諸川とし其四をオレゴン、コロンビヤ、サクラメント等太平洋に注ぐの諸川とす其他大湖に注ぎサンローラン等に注ぐ河流亦數多あり○山嶽の重なるものはアレガニー山及びハロッキ山を最としエローストン、ヨセミットは最も風景佳勝の處とすアレガニー山はジョルジャ州よりメイン州に亘り長さ千五百五十英里幅百五十英里より二百英里に至り最も高さ處はカロリナ州に於てブラックドムと號す高さ六千七百十一フィートの高嶺ありロッキ

山は合衆國の中央より湧起し北に綿亘してアラスカ州に終る長さ五千英里餘北アラスカ州より南メキシコ州に亘り國內の西部を貫き太平洋の方位に長壁をなし大峯高嶺各處に湧起し吾か富士山の如き高嶺も亦十五ヶ所あり此内最も高さ處はメキシコ州に於てボ、カットペットの高峯にして一萬八千フィートに及び恒に火煙を吐く然れとも山勢惣て寛廣にして甚き峻嶮を覺えさるか如く山上には荒野の茫々たるをなすあり土壤概ね枯燥して生草を見ざる處多し○此國惣て礦物に富み石炭脈の廣き事全歐羅巴洲に三倍す炭礦の廣さ合せて三十萬方英里一千八百七十年に掘出の高三千二百八十六萬三千六百九十噸此金高七千三百五十二萬弗石油の量も亦夥く一千八百七十五年に英國に輸出せし金高三百八十七萬四千四百弗金はベルジニヤ、カロリナ、ジョルジャ、カリホルニヤ州等を最とし銀は新メキシコ、アリゾナ、カリホルニヤ、エタ、ネバダ州

等を最とす其他鐵、鉛、銅の産額も亦頗る多し礦業は又世界に其名高く一
千八百七十五年に礦山に使用する職工の數十五萬四千三百二十八人な
りと云ふ○農業は土地饒腹なるか故に國內産物の中農業を以て第一と
す全國耕田の數は一千八百七十年に一億八千八百九十二萬千二百エーカ
一エーカは我が十
四丁九反五畝五歩に及ぶ是れより生ずる農産の穀類は一千八百七十
一年の統計に玉蜀黍九億九千八百八十九萬八千ブッセル 一ブッセルは我が
凡そ二斗に較す
小麥二億三千七十三萬二千四百ブッセル烏麥二億五千五百七十四萬三
千ブッセル大麥二千六百七十一萬八千五百ブッセル裸麥千五百三十五
萬五百ブッセル蕎麥八百三十八萬八千七百ブッセル馬鈴薯一億二千四
十六萬七百ブッセル刈草六千二百二十三萬九千四百噸煙草二億六千三
百十九萬六千百磅 一磅は我が
百五十九匁綿三百十萬把以上皆國民貴重する處の産
物なり其他は茲に略す○牧畜の利は同年の統計に馬八百六十九萬二百

十九頭牛二千八百七萬四千五百八十二頭羊二千八百四十七萬七千九百
五十一頭豚二千五百十八萬四千五百四十頭○製造は保護税を以て外國
輸入品に重税を課するか故に内國の製造速に進歩を顯せり此保護税の
故を以て服飾、器皿、家什等百般の工産物其價の騰貴なること歐洲各國に
超えたり一千八百七十年に製造所の惣數二十五萬二千四百四十八ヶ所職
工男六十一萬五千五百九十八人女三十二萬三千七百七十七人兒童十一萬
四千六百二十八人製造品の代價四十二億三千二百三十二萬五千四百弗
此中一二を擧ぐれば木綿製造所の數九百五十六、製品代價一億七千七百
四十八萬九千八百弗、獸毛製造所の數二千八百九十一、量目一億七千二百
萬磅綿同千七百五十萬二千磅、此製品代價合せて一億五千五百四十萬五
千四百弗、製革類二億七千六百七十萬四千弗、麥粉四億四千四百九十八萬
五千弗、材木二億千十五萬九千弗、其他石炭油、火酒、護謨、諸器械、農具等とす

資本金一億千八百二十萬七百七十弗、製造元品二十四億八千八百四十二萬七千二百五十弗、商業も亦製造農業と共に盛大なり、一千八百七十九年六月三十日の統計に據れば外國に輸出の金高六億九千八百三十三萬四千九百五十弗、此内小麥、麥の粉、綿、煙草、材木、諸製造物、種油、金銀、牛酪、乾酪、豚、肴等を主とす、○輸入の金高は四億四千五百七十九萬二千四百四十弗、此内外國工産物、砂糖、茶、咖啡、獸毛、鐵鋼等を主とす、貿易は英國の通商其大半に居り而して英國へ送るは棉花を最とし、穀類之れに亞く、○商船の數は一千八百七十七年同七十八年の間に三萬七百九十六艘、内國に於ては各州通商の便利を盡し、鐵路を架設し、運河を開通して貿易の自由をなせり、運河の長さ三萬五千英里、此開鑿の費産一億弗、鐵路は國內要路悉く通達せざることなく、一千八百七十九年一月に鐵路の長さ八萬千八百四十一英里に及び、電信局は大小九千五百ヶ所、電線の長さ二十四萬二千英里に

及ふ、○學校の教育は普通に手を盡し、最も進歩せり、小學校の多きと入學兒童の多きと新聞紙の多數なるとは諸國に超越す、大學校三百五十ヶ所、僧侶の學校百二十ヶ所、醫學學校百ヶ所、法律學校四十ヶ所、其他中小學校、女學校等實に夥多にして枚擧す可らず、教育の方法は各州の自定に任し、大政府に於て甚た關涉をなさず、而して各州の政府に於ては之れを民政中の一大事務となし、毎年州の議院に於て學稅及び積金の方法等を議定し、各州互に勸學の周備を競ふ、○書籍館七十三ヶ所、書籍は一館に付二萬五千卷より十萬卷を藏す、○新聞紙は最も盛んに行はれ、新聞及び雜誌の種類惣て八萬一ヶ年發賣の枚數十一億四千六百五十五萬千に及ふ、○宗教はプロテスタント教、新を以て國教とす、然れとも信仰は自由に任せ、政府に於て敢て宗教に關涉をなさず、故に國內各宗甚た種類多し、諸宗寺院併せて六萬三千八十二ヶ寺あり、國民一般信教の心甚た篤く、其熱心は英國

より尙ほ甚しとす○政體は合衆政治なり一千七百八十七年に國會に於て定むる所の法律により十三州合衆して大政府を組織し大統領を置き行政の權を總へしむ而して大政府に委任するに行政司法軍事自由保護の權を以てす國會は上下兩院とす上院は各州々會議員の內より二名の委員を公選して之れに充つ即ち元老とす年齢三十歳以上にして六年毎に改選す下院の議員は各州の人口によりて差異あり或は一人を出すあり或は十人を出す處あり年齢二十五歳以上にして二年毎に改選す一千八百七十四年の憲法により一ケ年に五千弗を以て上下議員の俸とし別に往反の旅費を給す副大統領を置き之れを立法の長とす則ち上院の議長たり上院は官吏犯罪及び國事犯罪を糾彈する最高等の裁判所とす且つ上院は大統領の當選者を認否し及び大統領の非違を彈劾し外國締盟の權を有す下院は租税及び歳入出の豫算を確定する權を有す惣て上下

兩院に於て議定する所の件は大統領の認可を得るの後始て國の法律となる凡そ上院の起草衆員の協議を経て下院に付し下院議決の後大統領に呈す異議あれば十日内に國會に返付し再議せしむ再議の原案は再び三分の二以上の同意を得るときは大統領の異議あるに拘らず國會に於て國法と定むるの權あり國民より國會に委任したる權限の大略を舉れば租税を定むること外國品に輸入税を課すること國債を償却すること國を保護し政治を改良すること國債を起すこと商業に關すること銀行及び諸會社の閉店を命し取締をなすこと貨幣を造ること度量衡を定むること農造物をなす者を罰すること驛遞局を設置し郵便線路を開くこと專賣特許を與ふること出版人に特許を與ふること海賊を罰すること宣戰講和のこと海陸軍を増減すること戦時に民兵を召喚する事蓋し此民兵の士官を選ふ權は各州政府にありとす砲臺造船所及び政府所屬の

土地を支配すること等の件とす總て此法律に掲ぐる所の課目の外は國會の權内にあらず餘は皆州會の權内にあり○大統領を選擧するは各州に於て國會兩院の議員を選擧する人員に應じて候補を選擧し而して合衆國一般より此候補の中を投票する法とす大統領は三十五歳以上の男子に限る大統領の年俸は一ケ年五萬弗とす任期は四ケ年とす然れとも再選するも妨げなし大統領の死去せしときは副大統領之れに代るを法とす若し又此人にして死するときは上下兩院の内より交互公選するを法とす大統領の下に七人の書記官あり此書記官は大統領より上院に協議を遂げ以て之れを任命す外務、内務、大藏、陸軍、海軍、驛遞、檢事の七局に分課す年俸一萬弗を給す各局書記官は上下議員を兼ねるを得す書記官は職務に於て大統領に對するの外其責に任することなし海陸軍士官、裁判官、大藏、驛遞等の役員は大統領自ら之れを選み又は其筋に於て選舉せし

むることあり其役員の数凡そ十萬人とす大統領は海陸軍大將を兼ね○裁判所は上院を最高等とし其次を上等裁判所とす此裁判所に長官あり次官七人あり此官吏は大統領自ら之れを選び終身官とす各州皆裁判官を置く上等裁判所權限の大略を擧ぐれば法律によりて生すること外國定約上より生すること交際官に關すること航海上より生すること外國と外國との關係上より生すること此州と彼州とに關すること本國人と外國人とに關する事等を主なる事件とす○國の法律は各州の内三分の二以上又は上下兩院三分の二以上の同意を得而して全州四分の三以上同意を得れば法律を變更するを得へし○外國公使及び領事等は大統領自ら之れを選び或は外務長官をして之れを選ましむ各國に派遣する處の特命全權公使十二人此年俸一萬弗より一萬七千五百弗に至る辨理公使十九人此年俸七千弗より四千五百弗領事の年俸五百弗より七千

五百弗に至る○合衆國の海陸軍は大統領之れを統ふ一千七百九十一年には陸軍の數僅に千二百六十人なりしか同八百六十一年には一萬四千人に及び同年より同八百六十五年迄の間軍事南北戦争により召集せし兵數は二百六十七萬八百七十四人なり其後一千八百七十一年に至ては三萬人を常備兵とし同八百七十五年に至ては之れを減して二萬五千人とす而して有事の時に於ては三百七十四萬五千九十三人の民兵を召集すへしと云ふ海軍は軍艦六十艘一千八百八十年の調此中海岸防禦船二十艘水雷火船二艘なりとす○歳入は一千八百七十八年と同九年の間に二億七千三百八十二萬七千八百八十四弗此中主もなるは税關の收入にして其高一億三千三百萬弗に及び其他は内國諸税なりとす○歳出は二億七千七百五十一萬七千九百六十二弗とす同年十一月調へに國債二百二十二億五千九百十萬弗にして一千八百六十九年より一千八百七十八年迄の間に四十九

億二千四百三十五萬七千弗を償却せり

○亞米利加合衆國のある處は紀元千年頃に北方の商船東北の海岸に漂着せしを始めとし一千四百九十二年西班牙人コロンビユスの同國を發見せし迄は西印度人のみ住居せりと一千四百九十八年に英將セバスタアンカポット此國に渡り東方海岸ラブラドー及ベルジニヤ邊の地方を跋渉す一千五百十三年ボンズドレヲンなる人ホロリダ及サントヲギノスチン地方を經歷す一千五百二十一年に西班牙の將コルタースはメキシコ及新メキシコ、カリホルニヤ等の地方を侵略して其版圖に入る一千五百三十九年より一千五百四十二年の間に西班牙人フェルジナンドント一兵を率ひてフロリダよりアラバマ地方を侵略しミシシッピの大河を發見したり一千五百六十五年にナントヲギユスチン地方に於て西班牙の殖民をなし一千六百七年にベルジニヤ州のゼームスタウン地方に

英國の殖民をなす一千六百十三年にニューネザランドに殖民する者あり即ち現今の紐育是れなり一千六百八十二年より同七百二年に至る迄佛蘭西に於てはカスカスキヤ、アルカンサス及モビル、パンセン等の地方に殖民す○此れより變き一千六百四十三年に各方の殖民地を合一にせんと議を發するものありしかマサシユセツツス、ニューハンブシヤ、ロッドアイランド、コンネクチコット地方は英吉利新殖民地の名義を以て佛蘭西、和蘭、西印度人等の跋渉を防禦する豫備をなせり此豫備は果して空しからずして一千七百五十四年に至り新殖民地の人民より英國のオハイヲ會社に向て地所を割與せし處佛人に於て新英吉利の北方紐育の半方ミシシッピーバレーの地方は己の發見せし土地なりと云ひ西印度人と相謀りて英人に向ひ紛争を起せり此時に當りジョージ華盛頓ワシントンをして兵を率ひ佛人に談判せしめ華盛頓此に始めて顯る且つ殖民地に向ては一致合同す

ることを諭さしむ米人ペンシヨマインフランクリン合同の方法及び政治の組織を顯はす而して英國政府及び殖民地の人民皆之れを不可とし其議遂に止む蓋し移住人民に於ては此方法に従へは自己獨立の意を達するに害あるを以てなり英政府に於ては此組織に依りて彼等合同戮力せんには却て彼等の根據を強くし制御に不便あるを以て同意に至らざりしと云ふ其後米人華盛頓を大將とし英將ブラドックと合同して佛國殖民地を攻撃し利あらずして退く然れとも後年遂に略取するを得たり即ち今のカナダ地方是れなり○抑も米國に於ては立憲及び共和の説疾くに國內に輸入しブルムスの殖民地は英政府より免許を得て疾に共和の治をなしベルジニヤも亦民治政體を造れり而して英國に於ても查斯チャース二世の時代迄は殖民地をは未だ直ちに本國の所領とは認めざりしか當時に至り英國議院に於て殖民地に向ひ始めて左の法律を議定せり蓋し殖

券を破毀し之れを船に積て英國に返却したり都府には人民の會社を造りソンス、オフ、リパチー自由の子と云ふ義なりと呼稱せり英國に於ては其理に服したりけん遂に證券印税の法律を廢するに至り稍や米人の憤怒を減すれども課税の念は尙ほ變する能はず一千七百六十七年に至て紙、硝子、染料、茶等に課税す此時ポストン地方穩かならず同七百六十九年英政府に於ては殖民地の主任官を助けて法律を實施せしむるか爲め七百人の兵を送致せり然るに一千七百七十三年に至て又此税法を廢す然れども茶一磅に付三片の課税は依然免除することなし此時に至て人民一般に課税の法は一切受く可らざるものとの信認益深く更に盟約書を作りて之れに同盟血判をなし茶は英國に返却し或は殊更に腐敗せしむるあり又ポストン地方に於ては悉く海中に投棄するに至れり英政府は此等の暴行を鎮壓せんか爲め相當の法律を議定し一千七百七十四年ポストンの港内

を閉鎖し更にサレム地方に開港すポストン人の狼狽困難一方ならず然れとも他の殖民地に於てはポストン人を憐み食物を送致して厚く之れを救援せり其後英政府に於ては到底殖民地をば英國の所屬とし法律を遵守せしむることに議定し一萬の兵を送りて人民を鎮壓し法律を實施せしむ此場合に於て人民尙ほ英國を尊敬するの念慮未だ全く消滅するに至らずと雖も各自に於て英の暴壓を防ぐの準備をなし人々自ら奮ふて隊伍を編制し訓練をなし各處に兵糧及び戎器を集む英に於てはポストンより小隊を繰出しコンコルドに貯へたる軍器を奪んとす米人之れを迎撃つ之れをレキシングトンの役と名つく米國獨立戦争の始とす實に一千七百七十五年四月十九日なり英軍利あらずしてポストンに敗走す米人此勝報を聞くやポストンの近傍に群集し砲臺を乗り取り製鐵所を奪ひ大砲彈藥を掠奪し又不意にクランポイント、チコンデロガ及び北

方要害の砲臺を奪ひ大砲彈藥を掠取せり此に於て殖民地の人民費拉特フェラテ費に集會しジョージ華盛頓を陸軍大將となし二萬の兵を召集することに議決せり同年六月十七日ボストンの近傍ボンカヒルに於て烈戦あり續て英政府は更に五萬五千の兵を送致し倍々殖民地を鎮壓せんとす殖民地の議院にては自今米國に於て英王の權力は一切之れなきものとし國內自由を保護するために政府を創立するの緊要たるを議定し米國の憲法を創造せり一千七百七十六年六月七日ベルジニヤ州の議員ヘンリー議院に於て發言して曰く忽て此國に集合したる殖民たる者は自主獨立す可き權利を有するものにして英國の政治をは全く離る可きものなりと議論大に盛んなり後ち十三州の内九州は此議に同意せり此に於て五人の委員を選び本國の獨立す可き理由を草せしむ此委員にはゼフワソン、アダムス、フランクリン、セヤマン、リビングストン之れに任す而して

ゼフワソン氏専ら起草をなす此大趣意たる凡そ人たるものは皆各同等の權利を有し自主獨立を主とす可きものなり而して政府たるものは國內公衆の同意を得て始て政府の力あるものとすと一千七百七十六年七月四日に於て各州の代議士遂に悉く同意を表す此に於て十三州合同して合衆政治の獨立國たるを以て斷然英國の關涉を脱したり當時合衆國の人口凡そ二百五十萬人なり此時に當りては華盛頓の率ゆる處の兵未だ戦事に馴れざるを以て屢々英軍の爲めに苦められしか同年の暮に至てトレント地方に英軍を夜撃し大勝を得て大に米兵の勇氣を振起せり同年合衆國政府に於てデン、フランクリンの兩人を佛國に派遣し獨立の承認を求む佛國に於ては直ちに之れを承諾するに至らすと雖も竊に戎器及び金幣等を送り以て米國を助く此時に際し佛國より貴族ラフワエット、ストバン、カルブ、コスシユスコ、プラスキ等の有力者米國に渡航し大

に此國の爲めに百事盡力せり一千七百七十七年に於ては各處の戦ひ互に勝敗ありと雖も概して米國の勝を得るは少く遂に費府を英軍に奪はるゝに至る華盛頓は冬候に及び殘兵を集めバレージョ地方に籠居せり此時兵士衣服に乏く頗る困難に迫る時に英將ブルゴヌ七千の兵を率ひて紐育の北方より進撃しサラゴタに於て大に米の兵と戦ひ大敗を被むり僅に三日の糧食を剩すのみの勢ひとなり遂に同年十月十六日全軍を以て米國の軍門に降参せり其翌年に至り英國は貴族カーライルを派遣し和睦を議せしめしか時既に後れて和議に至らす佛國は此機に乗し曩に米國より請求したる獨立を承認し軍艦兵器兵糧等を送り公然米國を援く和蘭及西班牙も亦英國に向て兵端を開き米國に聲援す又蘇蘭の人ポールジョンズ佛國より軍艦を借り受け以て英國の海岸を攻撃す英國は斯る困難に際し英王の名譽を保ち帝國を維持せんか爲めに國會

に於て大に奮激し更に大兵を起し以て米國に送遣す陸軍大將コンヲリス大軍を率ひて北カロリナを攻撃し同年八月十六日カムドンに於て米將ゲーツスと戦ふて之れに勝ち進んでベルジニヤに至る米將ラフワエット逆へて之れを撃つ此時佛國陸軍大將ロシヤンボー銳兵六千を率ひ米國に到着す英將コンヲリスはベルジニヤに於て米將ラフワエットに遮斷せられ退てヨクタウンに至り紐育の英軍より援兵の來るを待つ時に海岸よりは佛の艦隊進撃し陸地よりは佛の銳兵米國の兵と合併し海陸共に進て英軍を撃つ英軍前後圍を受け進退維谷遂に七千の兵を以て米の軍門に降参す實に一千七百八十一年十月十九日なり此報の英國に達するや國內大に動搖し政府要路の大臣悉く辭表を呈して内閣を退くに至る而して英國政府は更に陸軍大將カルトンを紐育に派し和を講せしむ此に於て一千七百八十二年十一月三十日英米共に佛國巴里府に會

し假條約を結ぶ其翌年九月三日巴里府に於て英佛蘭米四國相會して和陸の本條約を結成し一千七百八十四年一月四日米國々會に於て之れを批准せり是れより曩き一千七百八十三年四月四日米國に於ては召募の諸兵を解散し同年十一月二十五日紐育を英國より領取せり同年十二月四日に於て大將華盛頓は諸將士に離別し同月二十三日國會議院に於て陸軍大將の職を返す抑も一千七百七十五年四月十九日始て戦を起せしより一千七百八十一年十月十九日戦の終りに至る迄凡そ七年間戦争二十四回に及へり此戦に於て英軍の戦歿者二萬五千人餘米軍凡そ八千人なりしと云ふ此に至て各殖民地全く獨立の權を有すと雖も數年の戦争にて國內大に疲弊し外國債八百萬弗國債三千萬弗に及び剩へ兵士の給料も未給のもの多く國庫空乏して紙幣は價を失ひ實に困難の域に迫れり此に於て殖民地の人民を召集し告るに此事情を以てし且つ國債償却

の方法を諮詢す然るに各州に於ても亦其州内の負債ありて償却の目途を立る能はず而して政府に於ても亦人民に向て償却の方法を命令するの權なく又租税を賦課するの權もあらずし之れに依て曩に議院に於て創設したる條規甚た不完全なるを覺ふ一千七百八十七年各州の代議士を召集して曩きの法律を修正せんとす然るに議論紛紜久しく結果を得ず遂に曩きの法律を全廢し更に新法律を編制す蓋し各州毎とに政府を建て統領を置き一州の政務を司らしめ而して更に中央政府を造りて大統領を置き國中一般に關する大政を司らしむるの法とす則ち米國合衆政治の大本にして今日米國の政體法律は皆此に基けり抑も此憲法を議するに當りては各州の代議士意見の異同ありて頗る議論を生せり蓋し論者に於ては中央政府及び議院の權限を廣大にするときは政府議院共に專横にして民政に妨害あらんことを恐るゝの論者多きを以てなり

而るに一千七百八十八年十三州の中十一州は遂に此法律に同意を表するに至れり不同意の二州は則ち紐育及びベルジニヤの兩州たりしか後ち遂に兩州共合同し全く十三州の合衆國とはなりたり此時に於て合衆國に兩黨を現出す一をフェデラリストと云ひ中央集權の説とし一をアンチフェデラリストと云ふ則ち之れに反對し地方分權の説とす此時華盛頓及びアダムスの兩人はフェデラリスト黨の首領たるを以て遂に華盛頓は大統領に選舉せられアダムスは副統領に選舉せられたり之れに因て華盛頓は紐育府に於て國法を遵守するの誓をなし中央政府の組織をなせりゼフワソンを内務の長官としハミルトンを大藏長官としノックスを陸軍長官としゼーを司法長官とす此に於て國會にて各州の負債を負擔し合衆國の銀行を創立せり當時反對黨即ちアンチフェデラリスト黨は國會に於て此銀行を創立する權力ある可らずと主張せり一千七

百九十二年大統領改選の期に至り華盛頓再び大統領に選舉せらる當時國內黨派の争ひ漸く盛なるに際し恰も佛國の共和説大に影響を及ぼしフェデラリスト黨は英國に左祖し反對黨は佛國に左祖せり然るに又英政府と合衆政府との間に紛紜起り人心恟々たりしかゼー氏の周旋により遂に平和に歸せり一千七百九十六年三回大統領の改選に當り華盛頓の再任を促すものありと雖も華盛頓は國內黨派の争ひ強きにより頗る慨歎を生し斷然統領の選を辭せり而して合衆國の人民に向て離別の書を呈はし以て民衆に告げて曰く凡そ國民たる人々は彼我の争ひ強く人々分離するときは國力甚た危し故に各勉勵共同するに専ら注意せざる可らずと世の歴史家深く此語を稱揚せり此年アダムス大統領に任しゼフワソン副統領に任せり一千七百九十九年華盛頓卒去す國內人民何等の黨派何等の人物に論なく舉て哀惜痛傷せざるものなし其翌一千八百

年に於て曾て華盛頓の選て合衆國の首都となさんと欲せし華盛頓府を國都とし紐育より政廳を移轉せり一千八百三年に至りルイジニヤ、ミシシッピ、ロッキーマンテンの各地を佛國より千五百萬弗にて買收せしより合衆國の境域殆んど従前に倍す一千八百十一年七月商業上の事より英國と戦端を開き互に勝敗あり一千八百十五年に至て和睦す以來歐洲より陸續移住民の増加するに従ひ國の境界も倍々廣大を致せり其後奴隸賣買のことより紛擾を生し一千八百六十一年遂に南北の大戦となり烈戦數年互に勝敗あり同六十五年に至り遂に南部各州敗績して北部に降服し始て平和に歸せり 合衆國の北部フエデラリスト黨に於ては奴隸を解放せんことを主張し南部コンフェデラリスト黨に於ては解放を非とするより大に議論を生し大統領選挙に當りて頗る騒擾を起し後遂にフエデラリスト黨の首領選ひに當るにより南部各州は遂に分離して別に獨立の政府を造る 其後國內多少の事變ありと雖も大亂に至らず商業製造の術著く進歩し藥商大家年を逐ふて勃興し現今世界に冠たる一大開明國となりたり而

して政黨はレポブリックカン、デモクラットの兩黨に分れレポブリックカン黨勢力盛んにして恒に政權を掌握す抑も聯邦政治建設より于今九十七年聯邦漸次に増加して三十八州の多きを致せり

○紐育府は元と和蘭人の殖民地にして新奄特坦ニューアムステルダムと稱し一千六百二十一年に此港を開築す一千六百六十四年英蘭隙を生し英の王子育伐ジョージて之れに勝ち遂に英國の略取する所となり改て紐育と稱せり合衆國に屬せし頃は費拉特費及ひ波士敦ボストンよりも狭少なりしか其後漸次に廣大に赴きエリエーの運河を開鑿せし以來商業頓に隆盛を致せり當府は北緯四十度四十二分三秒西經七十四度三秒に位す東は河峽を隔てブルックリン府に對し西はホドソン河を隔てチェルゼー府に對す全地マンハタンと號する一島にしてホドソン及ひイースト、ハレム、ドイベルクリーキエの諸川を以て包繞し長さ三十英里幅員平均二千八百十六ヤード 一ヤードは我か三尺〇四分

五面積二十二方英里人口百九十二萬五千〇六人とす千八百八十年の統計 貿易の繁昌は國內第一に居り都會の大なるは歐米各國に於て第三に居れり市に一條の大街ありブロードウエーと稱す幅員百尺フット長さ直線八英里此本街に數條の横線を付し河岸に貫通し幅六十尺より百尺に及ふ又ハレム河橋、ブルックリンの釣橋等ありて市街相連接す其他數多の渡船場ありて數十艘の汽船恒に往反し又街上に高架の鐵道ありて市街を横斷す港灣には十四の砲臺を築き大砲千五百門を備へ海防を嚴にす埠頭は西岸に八十東岸に七十あり此府の繁榮は百年以來に興り高館巍閣は多く十五六年前の新築に係るものにて屋宅の建築歐洲麗都の美に如かすと雖も大政府の支庫及び商會館エクスチェンヂ郵便局運上所ツリニチー寺、グレース寺、セントパトリック寺の如き皆豪壯雄巍の大館たり其他大學校、音樂學校、書籍館、劇場、畫堂、大逆旅等亦皆巨大の建築なり寺院の數三百三十一ヶ寺學

校の數三百有餘ヶ所其他聾啞盲貧育兒院等悉く備り劇場十有餘ヶ所公園地十九ヶ所を設く就中セントラル公園の如きは最も廣大にして甚た秀美なるものなり町には公選の市尹を置き市政を司らしめ巡查二千五百人を置き市中の取締をなす〇此府貿易の隆盛なること英國倫敦に比す可く全國輸出入品三分の二以上此港に於てす東は壓瀾洋を航して歐洲に貿易し南はパナマに通し内地はホドソン河より運河を以て各州の運漕を便にす實に米國貿易の心點なり一千八百七十六年の統計によれば輸入の金高一億九千九百二萬五千三百七十一弗輸出の高二億七千九百九萬七千三百三十六弗入船の數六千七百二十三艘噸數五百〇四萬九千六百十八噸出船の數六千百三十三艘噸數四百八十三萬七千二百十八噸當港所有の船數六千六百三十艘噸數百三十一萬八千五百二十三噸とす〇製造物も亦甚た盛んなり一千八百七十年に製造所の數七千六百二十四ヶ

所之れに役する職人の數十二萬九千五百七十七人賃金拂高六千三百八十八萬四千四十九弗製造品の金高三億三千二百九十五萬千五百二十弗此地にて製出する所の蒸氣諸機械及び汽船等頗る精巧にして且つ堅良なり其他金、銀、銅、衣服、玩器、兵器、棉毛、麻の紡織等製作甚だ盛んなり○府内人民財産の高は一千八百七十五年の調査によれば十一億五千四百二萬九千七百七十六弗とあり以來殆んど十年を経たれば又幾許の増加をなしたらん土地の廣さと貿易の隆盛なるに従ひ人口も亦逐年増加し一千八百四十三年及び同四十四年の間に各國より此地に移住するもの二十六萬八百十四人ありしと云ふ

二十九日 (曇又雨火曜)

午前十時より出寓し高橋領事夫妻と共に處々巡覽す先つ領事館に至り夫れよりグリーンウッドの墓地を巡見しプロスペクトパークに過り同所

にて午餐を喫し畢て園内を巡遊し六時寓に歸る途上ブロードウエーの繁華を一見し有名なるブルックリンブリッジ橋^橋を通過す本日所見の概況を左に記述せんとす○グリーンウッドの墓地は紐育市街より數十町南に當りゴアヌスと稱する丘陵にあり面積一方英里一千八百四十三年の造設に係り世界第一と稱する秀美の墓地たり地形は丘陵起伏し馬車道人道を通し迂曲旋回一巡以て地内を周覽するを得へし正門は頗る宏麗にして宗教上の畫を以て裝飾をなす幾多の墓碑は清砌の間に點在し或は大理石を以てし或は花崗石を以てし或は神祠を築き或は彫像を安置し方圓大小各自構造をなし又碧樹芳花を栽え元來天然の地形により一般に庭園の景致をなしたれば風韻雅致恰も莊園泉水の中を逍遙するに異らす車馬岡上を過る時は紐育市街の烟華眼中に集り眺望亦佳絶なり此所は概ね富豪家の集る處にして凡そ十二疊敷きの地面三千五百弗の

價なりと此中には五十萬弗にも及ぶ墓碑あり蓋し豪家は互に秀清を競ひ巨萬の金を要し以て全盛となす由宏麗なる墓碑若干ある内最も著しきものは水先案内者合葬の墓并に消防方合葬の墓シヤロットカンダ婦有名なる俳優のよしの墓等其他枚舉に遑あらず○プロスベクトパークは半ばは岡陵によりて園林をなし廣さ凡そ方一英里馬車道人道を周廻し翠草綠樹能く繁茂す岡上に迂出し車を止めて一望すれば蒼海渺茫水天一碧即ちアタランチック洋にして紐育灣は近く眼下にありて帆影島嶼の間を往返す地形天然の美を占め最も眺望に富む中央に秀美なる噴水器の設あり又大統領リンコン氏の銅像を安置せり當今恰も盛夏の候に際し碧翠滿境心氣頗る爽快を覺ふ○ブルックリンブリッヂは世界第一の鐵橋にて驚く可き巨大のものたり紐育とブルックリン島とを連接する爲めイーストリバー河に釣架したるものなり一千八百八十三年明治六年九月

二十三日落成渡橋式を行へり橋の長間五千九百八十九尺フット幅八十五尺高さ水平を抜く事百三十五尺兩岸に大石柱堅百四十二尺横五十八尺高さを建設し十五インチ餘の鋼鐵紐を懸け以て橋を釣る橋上には左右に馬車道人道人道は中央の上に架すを設け中央に乗合車の鐵路兩線を通し北岸に蒸氣器械を以て護謨網の操り引を仕掛け常に乗合車を往反せしむ此大建築は陸軍士官ロエルリング氏の計畫創設に係り而して同氏の男ロエルリング氏に至て落成す工事十三年間費用凡そ千五百萬弗を要したりと實に未曾有の巨橋にして近年世界無比の大工事と云へし橋上に至り欄に沿ふて橋下を臨めは幾千噸の大艦も依然として橋下を往來すへく又左右を願望すれば船舶の桅檣は森々として林梢の如く帆網綜錯として蛛網に似たり渡船は頻りに汽笛を鳴らして來往するあり兩岸の連甍は層々として湧か如くに起り實に氣象豪壯にして其繁華の景況は筆舌の能く盡す所に

あらず○ブロードウエー街の繁華は紐育中第一にして車馬行人道路に溢る電線の多きは蛛網に異らす諸車の往反は常に路を塞き或は四五車相並ひ前後左右馳突廻旋し鱗々として終日間断あることなし其混雑熱鬧は倫敦シチーよりも尙ほ甚しかるへし本街の衝き當てに廣達あり此邊には府廳商會電信局新聞大社等雄巍の大館櫓を連ね殷盛繁劇を極む廣達の周圍に人道を開き其傍らに露肆を陳ね日々午前迄は果穀菜蔬の市を營み衆庶輻湊して此に競賣をなす抑も此地の繁華は豫て世に高名なれば其豫想も亦更に深かりしか實地は又想像に勝ること少からず若しも英國倫敦の繁華を見すして俄然此地に來りたらんには猶も意外に出ること多からん

三十日 (晴水曜)

午後二時より駕してセントラルパーク及びハイブリッジを巡覽す○セ

ントラルパークは市街の北に當り東西半英里南北二英里半の廣域を占めたる遊園なり昔此邊は惣て沼地なりしを數十の名工を集め各匠思を極め伎倆を盡して計畫せしめたるものなれば其規模の廣大にして景勝の清邃秀美なること歐米中比類稀なる園園に入り前の一の美術館あり行て一覽す吾か國の蒔繪陶器銅器類夥く陳列す館内の裝飾及び陳列品等惣て新鮮にして最も清潔を極む夫れより進んでセントラルパークの勝に入る巡行に従ひ奇石岡陵に歎たち綠翠深谷に滿つ或は湖水の勝を廻り又は廣林の邃に入る坦闊なる大路あり迂曲の小徑あり鳴禽は樹間に囀つり雉兔は草叢の中に出沒す中央に高臺を築き遊樂の場所とす此には遊人恒に磨集す又音樂堂の美麗なるものあり其他大小の架橋沼池噴水銅像石像等悉く精を極め巧を盡さるなし園の北傍には廣坦なる馬車道あり此には肥馬に鞭ち輕車に駕して遊馳するもの常に多

し誠に完全なる遊園にして一巡の得て觀盡す可きにあらず只其概況を記述するのみ○園後に出れば山坡相連り林樹鬱葱として人家落々府外を廻る高架の鐵道は遠く林叢の外に連聯たり暫く田畝の間を馳てハレム河岸に出てハイブリッジの下にて馬車を降り歩いて林岡に登り岡上の茶店に休憩す林風暑を拂ひ心氣最も爽かなり夫れより歩いてハイブリッジを渡り水溜を一見す○ハイブリッジ橋高は紐育市中用水の根元たるクロトンに通する水道にしてハレム河に架し長さ千四百五十尺フット高さ百十四尺の大石橋なり橋上には石欄を設け橋下は十四の石柱を設く亦稀代の建築なり橋を越ゆれば岡阜あり石階を登り岡上に至れば廣大なる水溜あり形方角にして碧水波紋をなし四周に石を疊みて其上部に青草を栽ゆ則ち市中用水の根元とす此水溜へ貯水するには傍らに高樓を設け其中に蒸氣器械を据え以て向岸の山上より常に水を引致するの仕

掛をなす猶ほ魯都聖彼得堡府の用水汲致の仕掛の如くにして水溜を他に設くるの差あるのみ此には監守人を置きて取締をなす水溜の傍らより眺望すれば紐育灣及ひアタランチックの海上を望み碧波渺茫として天を浸し景勝頗る豁然たり○歩を返して橋上を通過し再ひ林岡を下り駕して歸途に就くセントラルパークを再過する前路通過せざる所を見る一の銅像あり之れはウベスター氏の像にして氏は日米對譯の字引を編成せし人なり又騎馬の銅像ありポリアル氏の像なり此人南米諸州の内共和國の西班牙に屬したるを悉く獨立せしめ偉功を立てし人なりと又一の埃及塔あり先年埃及王より紐育府民に與へしものにして豪商ハンデルビルト氏大金を出して此地に輸致したるものと云ふ園徑を廻れば殆んど日没に近し小鳥は樹下に徘徊して頻りに宿餌を啄み小兎は人に馴れて路傍に出遊す狀致最も愛す可し

三十一日 (雨木曜)

午後一時より駕して郵便本局及び蠟人形を見物す途上日本商會に過り吾か國船載の諸品を一覽す陶銅漆器の類頗る多し○郵便局はシチーホールパークの側らアストハウスの前にあり花崗石を以て四層の高樓を起し前面の幅二百七十九尺南面百四十四尺其他の兩面は二百六十二尺豪壯雄巍の大建築にて火災に罹らざる造築なりと云ふ其費用七百萬弗を要せり建物の地下に入ること二層にして此下層に蒸氣器械を仕掛釜十四個を備へエレバートル釣上を以て人を上下し且つ荷物の運搬等に便にす最下より最上層吾か國の八階に當るに往復するも瞬間に之れを辨す可し敢て石階に據るを要せず毎層皆若干の部局を設け各其職務を司る信書の取扱忽て神速を極め敢て失誤あることなし就中目を驚す可きは信書分配所なり書狀の堆積したるを其所名を閱して豫て方角を部署したる投

書函に分配投入すること木葉を散らすか如くにして一點の差誤あることなく數千通の書翰も立ち所に配別すへし實に能く訓練したるものと云へし局の中央に鐵の段階を廻旋に設け之れを昇りて屋上に出れば周圍に巨柵を繞らし全街の繁華を臨み盛都の氣象眼中に集る惜む可し此日天陰り烟霧四塞して眺望分明ならず○蠟人形は各國有名なる歴史上の圖を呈はす裝飾美麗にして渾て能く整理せり一の廣堂には恒に奏樂の設けあり兩側に種々日常の人事を模造す釣り床に病婦安臥し傍らに婦人あり團扇を以て病者を扇く所の圖は最も神に入るものゝ如し此上に廻廊を設け欄干に若干の同見を据え縦覽せしむ此中には各洲の氣候風俗を呈はす又吾か國の蒔繪の印籠、香箱の類、根付、象牙細工、小柄、目貫等を陳列せし所あり

八月一日 (曇金曜)

本日は此地を發し華盛頓府に赴かんとす午後三時四十分旅寓を發しサンシルバニヤ渡船場に至る即ち此線路の汽車驛なり此に至れば大小の荷物山の如く堆積し人馬の往復甚だ繁劇にして其混雜市場の如し夫れより汽船に移る船は棧橋と平面に密着したる故に何時船に移りたるかを覚えざりし程にて其運轉を始むるに因て初めて渡船なるを知るか如し船中には左右に榻を設け乘客皆之れに倚る須臾にして向岸に達し直ちに汽車に移る此汽車は桑港に達する本線鐵路にして構造裝飾頗る美麗を極め前後に大鏡を掲げ又左右玻璃窓の間には細長の鏡を付す天鵞絨の窓掛に純子の日覆を掛け天井は金繪の張付を以てす兩側に上窓若干を開き皆繪硝子を張る中央を通路とし左右に椅子を据付け自在に回轉する所の椅子にして前後左右居ながら吾か思ふ所に向ふへし此にて食事をも辨す可く又左右の上部を下ろせば即ち寢床となる大小用所及

ひ嗽盥の具等悉く車内に備はり一として不自由を感することなし四時發車しパルモ一及ひフィラデルフヒヤの兩岸を経て十時四十分華盛頓府に達す途上汽車の通行頻繁にして恰も疾風迅雷の過るか如く此一事を以ても此都會の盛んなることを想像すへし直ちに駕して旅亭グエリントンと號すに投す

○華盛頓府は合衆國三十八州の首府にしてベルジニヤ州の首都なり北緯三十八度五十一分二十秒西經七十七度十五秒に位し人口十四萬七千三百七人一千八百八十年の統計西南にボトマツクの大河を帯ひ地勢平闊にして岡陵起伏の勢あり山巒遙に四方を繞り風景頗る佳勝の地たり中央高燥の地に國會堂を建設し巍然として雲表に聳え府中至る所之れを望むへし國會堂を中心として縦横に數十條の街路を開く恰も砥の如し路傍に樹を栽ゆ井々として四邊遠く寂寞の區に達す規模甚だ宏大にして將來幾百

萬戸を増殖すと雖も敢て狹隘の憂あらざるへし市街の長さ四英里幅二英里半道路行人の輻湊する處には方圓適宜の地域を畫し之れをスクラヤと云ひ樹木草花を栽え休憩に便にす此地は華盛頓氏の自ら選んで合衆國の首府となせし所にて一千七百九十三年九月十八日該氏自ら國會堂の基礎を据え以て之れを經始せり當府は大政府所在の地なるを以て全國文武の官吏議員及ひ外國公使學士等の専ら寄寓する所にて貿易の地にあらざるにより河口通街にも繁劇喧鬧の市場なく百貨を陳ねたる商店は大道二三條に過ぎす一般の景况概ね靜肅なれとも雄館巍閣の人の觀に觸るもの又渺からず第一を國會堂とし次に大統領官舎ホワイトハウス大藏省陸海軍省國務省農務省驛遞館パテントハウス專賣免許を與へし國ニヤン學校建設に係る學校天文臺養老院國に功ありて財產ソルジャスホーム兵卒負傷によりて發疾に罹るものを養ふ處華盛頓モニユメント塔記念等構造壯麗なるのみな

らす或は庭園を設け或は山河の勝により又は眺望の景を占む閑雅清逸愛す可きの地頗る多し○氣候は緯度に對しては寒暑ともに酷烈にして寒は漸く立夏の候に至て始て退き夏は立秋の候には已に冷氣に至ると雖も盛夏の暑熱一時は百度にも昇ると云ふ予か此地に至りしは恰も盛夏の候なれとも偶ま潤雨ありて苦熱を覺えさりしか追日復炎熾に至んとす滯留中は雨後の清暑にて檐外の綠陰涼風を送り時には蟬聲の聞ゆるありて頗る郷國夏時の候を想起せしめたり

二日 (曇夕晴土曜)

午前十時より出寓し處々巡覽す先つ大藏省に至る○大藏省は白石を以て築造したる三層の巨館なり縦四百六十八尺横二百六十四尺外面は白石の圓柱を環列して四周を支持す館内室を分つ二百最も清麗なるはカシルム出納ゴールドルーム貯金とす此ゴールドルームの内には正金數

千萬弗を貯藏す鐵の門扉を設け鎖鑰此鎖鑰は時計の器械の如く鍵ありと雖も時至らざれば開くことを得ずを密にし其嚴重堅牢なること未だ曾て見ざる所なり一室に紙幣を厩造して嚴刑を受けたる犯罪者の寫眞を數多掲載したる處あり此には二三の刑具及び兇賊の所持せし異様の兇器をも陳列せり紙幣を點檢し或は印章を捺し或は數を改むる等其課其局頗る多端にして各之れを分掌し職務に従事せり此内には婦人の職を奉ずるもの多く中には婦人にして一局一課の長に任し男子を指揮するものあり惣て枚數調査等の如き座業級密の事務は多くは婦人をして之れを掌らしむと云ふ○ホワイトハウス白館とは大統領の官邸なり一千七百九十二年華盛頓氏の大統領在職中に此館を創始し一千八百年に大統領アダムス氏始て之れに住す一千八百十四年英軍の焼く所となり同八百十八年に之れを再築したり長さ百七十尺幅八十六尺三層の石屋なり館内イーストルーム東の部屋と號する

は大統領對客の間なり此に次て藍赤青の三室あり二層には公堂及び諸省長官の集合して樞機を談する所あり其傍に大統領夫人の部室あり上層は惣て大統領の私室なりとす此館は甚た大ならず且つ裝飾も美麗を致すことなし國人は素より外國の行旅にも自由に廻覽を許し警邏の設け等あることなし合衆國の法殊に質素寛裕なるを覺ふ此節は暑中により大統領も不在にて空館に均き景況なり此館は前後に庭園マヤクを帯ひ左右に大藏國務陸軍等の諸省あり園内には噴水花窖等の設けあり府中にて頗る清麗佳勝の地たり日曜日には此に音樂を奏し貴賤男女相湊て共に歡樂をなせり夫れより海陸軍省當時新築に係るものの傍を経て舊陸軍省に至り戎具博物場を見る記す可きものなし○新築海陸軍省はホワイトハウスの西にあり縦五百六十七尺横三百四十二尺花崗石を以て五層に築きたる清麗雄巍の巨館なり館内には大書院書藏院及び各國使節の間等あ

り皆美麗なる裝飾をなす海陸軍省は全館の兩端に設く○農務省地内の農業博物館及び樹藝試驗場を一覽す博物館は城内の中央にありて巨大の建築なり中に農業の物品を陳列せり植物の種實頗る夥く其種類無慮二萬五千ありと云ふ各種類別陳列をなしたる中に玻璃の長筒を柱の如く建列して其中に諸色の種實を詰めたるあり外觀恰も美質細文ある圓石柱に異らす其種實の色に従て石質の異なるか如く甚た珍奇なるのみならず趣向も亦妙と云へし其他鳥獸蟲豸の乾藏或は火酒浸等の類數多あり又廣き庭園を設け之れを樹藝實驗の場所とす千草萬木種類頗る夥く構造惣て清麗なり傍らに花苑あり此には百花鮮美を呈す且つ大なる花窖の設けありて異草珍木を貯ふ○紙幣寮は赤質の煉瓦を以て築きたる五層の巨館なり紙幣を製造すること夥く蒸氣器械を用ひ盛大なること筆舌の得て盡すへきにあらず印刷所は一面に鐵柵を繞らし嚴重に取

締をなす職工の數夥く此にも男女を交へ用ゆ○午後二時より駕して各處を逍遙し吾か公使館を訪ひ書記官内藤類次郎書記生鮫島武之助等に面會し暫く談話して去る夫れより國會堂の近傍を廻り華盛頓モニュメントを看過して黄昏寓に歸る○各街を通過するに市街の外は過半官人學士等の私宅にして綠陰屋を掩ひ小苑を營み清潔にして幽邃閑雅適意の住居頗る多し街路の修築はテールにて石を甃せず平坦にして車輪の響き穩かに涼風炎暑を拂ふて心氣甚た爽かなり途上多く黑人を見る多くは僕婢兒守り等とす眞黒なるあり淡黒なるあり白人種の交はりたるものと云ふ逆旅の給仕の如き多くは黑人を使用せり○華盛頓モニュメント記念碑は世界第一の高塔となすへき目論見を以て經始せしものにして現今尙ほ未だ落成に至らず此塔は土臺を寺となし其上に方形の大理石を以て高さ六百尺の大塔を起す計畫たりしか百七十四尺

に及んで豫て醜集したる二十三萬弗を既に消費し重ねて集金の纏り難きを以て止を得ず建築を中止したり然るに一千八百七十六年に至り國會に於て資本を増加し建築を完ふすることに決議し再び築造に着手せり爾來工事次第に進捗して現今既に四百十尺の高さに築き上げたり之を望めは巍然として雲間に突起し夜は塔上に電氣燈を輝かし國會堂の電燈と遙に相照らし赫々として壯觀極りなし工事果して落成し六百尺の高點に至らば尙ほ一層雄美の觀を呈すへし○夜安藤書記官來訪す

二日 (晴日曜)

午後鮫島書記生來訪す二時より同人の案内にてアーリングトンハウス及ヒソルジャスホームを巡覽す○アーリングトンハウスはアーリングトン山中にあり此地はボトマック河の向岸にて水平より二百尺の岡上にあり樹木陰鬱たる林中に一屋あり南方の大將たりしゼネラルリー

氏の舊宅なり家屋は別に見る可きものなし只南北決戦のとき戦死せし人の碑名を石壁に刻したるあるのみ地形は河を隔て遙に華盛頓府を望み東は茫々たる高原を見晴し眺望頗る開豁なり一千八百六十四年三月に前大統領グラント氏當時陸軍大將の職にありて南方の大將リー氏と會戦し南北の大軍雌雄を決せし處なり此戦や元と賣奴存廢の論より起り一千八百二十年以來昂論益甚しく自然に南北分離の姿を顯はし北部廢奴の論黨は益其志を勵し終に一千八百六十年大統領改選の時に至り其黨の推選する所のリンコルン氏當選者たるに方り反對の存奴黨は直ちに合衆分裂を唱へ更にデェツハンソンドゥウィースを大統領としゼネラルリーを大將とし大軍華盛頓府を陥れんと進んでアーリングトン山に向ふ北部の大將グラント氏大軍を部署して之を逆へ兩軍此に雌雄を決す烈戦日を度り南軍遂に敗潰す抑も南北分裂より此に至る四年の間

國內騷擾を極め遂に此アーリントン山中に於て兩雄の決戦局を結ぶに至れり戦後に死屍の堆積したるを此地に埋葬し盡く其墓表を建つ西に埋葬したるは白人種北にあるは黒人種にして白木の墓表疊々として野に滿つ又無名氏の屍を合葬して墓碑を建つ此境内に祭典場の設けあり毎年一回招魂祭を執行すると云ふ○ソルジャスホーム老兵を養ふ處は華盛頓府の中心より北方三英里を離れて高爽なる岡阜の上に一方英里もあるへき園を占め此中に大理石の館を起す此には老兵若干を養ふ先年南北の戦に傷痍を受け廢疾となりて之れを養ふ親戚なきものを此に集め別に業務を執らしむることなく只庭園を修め草花を植える等終身優遊歲月を送らしむ此園は甚だ清麗にして樹木繁茂し碧草茵を敷き南方遙に華盛頓府の烟花を一目して景色頗る佳勝なり又老兵館の傍らに小館あり此れは夏時大統領の來て暑を避け閑を取る處なり

四日 (晴月曜)

鮫島書記生大倉喜八郎横山某來訪す大倉横山の兩人は今回米國に渡來し桑港より此地に着せしなり午前十一時よりカピトル及ヒパレントハウスを廻覽す○カピトル國會は則ち合衆國の大政府にして造營最も宏壯なり一千七百九十一年に建築の地域を畫し同七百九十三年九月十八日に華盛頓自ら基礎を据え夫れより漸時造營して一千八百二十七年に落成せり初めは中堂のみなりしか一千八百五十一年に左右兩院を増築し一千八百六十五年に完成したり地形は府中の高地にて海面を抜くと百四十五尺カピトル山と號す此建築は三棟を接続し中堂の上に圓塔を起す中塔は縦三百五十二尺幅百二十一尺左右兩院は縦二百三十八尺幅百四十尺三棟を合せて正面の長さ七百五十一尺全基の地域十六萬九千四百方ヤード一ヤードは吾か方三尺は全屋皆石材を以て建築す○此に觸目する處の

概略を記述せんとす中堂は石材を塗りて白堊とし左右翼は純白の大理石なり此周圍の地面に石像を置き噴水を設けて風致を装ひ地域の廣さ二十四萬二千方ヤード正面は東に向ひ前面の廊下は凡そ五十有餘の圓石柱を建列し此内に數戸を開く中央正門の石階は左右に彫像を設立し正面の廣達には華盛頓の石像を安置す正門の入口にも亦左右に彫像を建つ一は軍事に像り一は平和に像る正門の額上には平和と名譽の天神より華盛頓に授くるに月桂樹の冠を以てする處の大石像を掲ぐ此正門より進めは中央の圓堂に入る此には銅製の大扉を設く日耳曼にて鑄造せし者にて高さ十七尺幅九尺重さ二萬磅費用三百萬弗を要せしと此扉に鑄刻したる打出しの圖はコロンビユスの亞米利加地方を發見したる處の圖なり圓堂は洞朗たる高宇にして亘り九十六尺高さ百八十尺四周に畫を張るコロンビユス海を航して始て米地に至るの圖華盛頓の大統

領に選まるゝ圖英國を拒絶して獨立の概案を製する圖等皆當國名譽の歴史を顯はす此堂の上に圓塔を起す亘り九十六尺地床より上宇迄高さ二百二十尺上宇には米國有名の人々六十三人の大像を描く圓塔外部の亘り百三十五尺螺形に石階を設く塔上に昇れば數十里の外を見晴し眺望開豁なり塔の上部に巨大なるランテルン燈を設く亘り十七尺高さ五十二尺此に大圓石を置き其上に銅製の大像を安置すクイン、オフリバーチー自由の女皇と云ふ義なりと號す神像の高さ二十尺劍を按して屹立す圓堂の南扉を出れば半月形の廣堂あり最も華麗なり此には石柱を建る二十四皆青色質の美石なり此上宇は羅馬バンテラン寺に擬す此中には數多の石像あり南扉の上額には自由の神及び鷲鳥の圖を鑄刻す北扉の上額には歴史の神羽翼の付きたる馬車に駕したる圖を刻す此馬車の輪を時辰儀に用ゆ夫れより路を南に取れば下院に至る下院は最も善美を盡したるも

のなり縦百三十九尺横九十三尺高さ三十六尺上宇には鐵を以て井形をなし此中に玻璃を張り之れに各州の旗章を描く中央上段に置きたる大理石の卓案は議長の用ゆる處なり右の壁には華盛頓の寫眞を掲げ左の壁にはラフワエットの寫眞を掲ぐ其他米國史傳の畫圖をなす段上には各國交際官其他傍聽人の席を設く院に續て談合の間休憩の間食堂等あり裝致皆美麗なり圓堂の北扉より出れば上院に至るへし上院は縦百十三尺横八十尺傍聽席は大理石の階段を経て至る結構鮮美なり上院の側らには大統領の室副統領の室上院議官の室應接の間郵便役所等具備し悉く美裝を施す又此傍らに總白石の一室あり玲瓏清美を極む此に續て半月形の廣堂あり之れを大審院とす此中には從來裁判官の寫眞を掲ぐ昔は之れを上院に用ひしことありと此廣堂の下を書庫とす古來の典章記録を藏す凡そ四萬五千卷あり毎年若干卷を増加すると云ふ以上

到る處皆宏壯華麗を極む總て造營の皎潔にして地所の壯美なることに其比類なかる可し此に要せし總費一千三百萬弗なりと云ふ○パテントハウスは褒巧院の義なり館は驛遞館と相對し縦四百五十三尺横三百三十一尺高さ七十五尺大理石及び花崗石を以て築造したる皎潔なる大館なり中に數十の巨室を區分し部類を分て新發明の器械及び雛形を列布す惣て國民の著述技工百般の新發明あるときは議院に差出し免許を乞ふ其發明の深淺に依て褒典を與ふる差あり或は專賣の免許を與へ或は褒章を與ふ其此に及はざるものも品により亦留置列叙の榮を與ふるあり以上發明の雛形を此に集めて衆に示す大にしては汽船甲鐵船電信機の屬より百般の工藝美術の器械日常翫弄に屬する瑣末の品に至る迄苟も新工夫を加ふるあれば皆採集して其雛形を此内に列し以て廣く發明工夫の精力を誘起し公衆に利益を與ふ其器械雛形の夥多なること一

警看過するも尙ほ數日を費す可し況んや各其由來使用等を審札するに於ては無數の歳月を要するも遂に精神の堪ゆる處にあらざるへし此中に昔戦時の遺物あり就中珍らしきものは獨立戦争の後華盛頓の國會に向て返納したる陸軍大將の軍服及びフランクソンの用ひし印刷の器械なり皆高名なる史傳に係るものなり此館は内務省の所轄に係り同省の部内にあり○午後十時此地を發してナイヤガラ邑に赴く安藤書記官、鮫島書記生汽車驛に來送す汽車はスリイビンカール寐運付きの車を云ふにて構造頗る整美なり夜中見る處なし

五日 (晴火曜)

午前七時ウイリヤムボードに停車此にて朝食を喫す同二十分發車午後一時ロチステルにて午餐を辨し同二十分發車途中にて車を乗り替へ五時三十分ナイヤガラ邑に達し旅亭に投す本日途上サニダ湖濱を過く遙

望尤も佳なり○晚餐後散步して河岸に出れば皓月河面を照し奔流岩頭に激して玉碎雪飛怒號萬雷の如し是れ則ちナイヤガラ三大瀑の下流にして一目壯快たり明日は又幾多の雄觀あらんと將さに想像に堪へさるなり歸路小店に過り石細工及び景色の寫眞を購求す湖底より出る化石の珍品頗る多く則ち此地の名産なり○此地は巨瀑のある故か頗る冷氣を覺ふ

○ナイヤガラ邑は紐育州の西境にて英領加拿他地方と江湖を隔て分界をなす此地は市街も蕭疎にして一の僻邑なれとも闊大なる江河あり懸瀑の巨盛なるにより甚た世界に高名を博せり此ナイヤガラの瀑布はナイヤガラ河の水流にして水源は四の大湖による即ちソペリヨ、ミチガン、フロン、エリエー湖なり而してナイヤガラ河はオンタリオ湖に出サントランス河を経てアタランチック洋に流出すナイヤガラ河はエリエー

湖の東北角より北に向て汧流し河身漸く廣闊なるに従ひ水勢も亦澶活
 或は島嶼に逢ふて分れ又合し或は若干の小島浮出して江湖の趣をなし
 凡そ十六英里を経て河身又漸く狭く水勢次第に急なり奔流凡そ一英里
 河身四千七百餘尺一島に逢ふて水勢分裂すカナダ地方の川幅凡そ二千
 尺合衆國地方の川幅千百尺此れより懸崖に決瀉して大瀑をなす加拿池
 瀑は百六十四尺を寫下す加拿他瀑及ひ馬履瀑は其實一瀑なれとも英米の國界兩瀑の中心にあるか故に其名を分つ馬履瀑
 は崖頭の形内部に半月形をなし加拿他瀑に合するにより頗る闊大をな
 し而して幅僅に千尺の峽下に向て萬雷の如く奔落し餘勢沫を漂はす七
 英里の間幅僅に六百尺より千尺の河峽を流逝す米利堅瀑は島の一角を
 裂て支瀑をなし巨湍小湍沓として峽に落ち大瀑の餘勢に合して流去す
 則ちナイヤガラ瀑布の大體なり

六日 (晴水曜)

本日はナイヤガラの瀑布を廻覽せんと欲し午前十一時旅寓を出て先つ
 プロスペクトパーク園に至る此處は米利堅瀑の頭にあり此岸に至れば
 觀望甚だ盛んなり此庭上に於て瀑布を背後として撮影す惣て瀑景のあ
 る處は寫真店を設け遊客に撮影を促す園内には酒店及雜貨の店あり化
 石寫真石細工及び翫弄雜品を販賣す崖頭に至れば一字の舎あり下岸に
 臥輪の水車を設け夫れより巨組を繋きて上崖の舎中に及し其輪轉の力
 にて一の懸樓を繋き樓中に階段をなして十五六名を安座せしめ直ちに
 上下するの仕掛をなせり定め賃錢を拂ひ懸樓に坐し直ちに崖下に下
 る高さ二百尺崖下に又一舎あり此にて觀瀑の男女油衣を縛着し笠を冠
 り瀑水の下を潜りて水背の奇峻を踏む亦壯快の觀たり此邊に至れば細
 霧雨注して衣巾を沾し冷濕人肌に迫る一覽を畢へ再び懸樓に坐して上
 登し夫れより駕して新釣橋を渡り加拿他地方に至る此橋は瀑布を距る

約そ百餘尺の下流にあり一千八百六十九年の創設に係る橋は鐵造にして只兩條の鐵紐を以て釣懸す傍らより觀れば長紐を斷崖二百尺の上に張るか如し此架橋着手の始めは紙鳶を揚げて紐を向岸に達し以て築造を始たりと云ふ總費十七萬五千弗を要せり此懸橋を馬車にて渡る橋細くして峽深く橋身動搖危ふして又奇なり橋より俯瞰すれば瀑水の餘勢泡沫を漂はし水は鳴綠をなして深淵測る可らず兩岸の岩壁は歎立して崩るか如し橋上の瀑景亦奇觀たり橋を過き峽に沿ひて一條の路あり市店を開き街をなす此れより加拿他の瀑前に至れば一の博物館あり屋造三層茲には主として湖水より出せる魚貝類を陳列す又礦石類禽獸の皮骨を集め多くは表皮乾藏となす猛獸巨鳥より細禽小兎に至る迄眞に活動するか如し其他埃及の古物を集め又一室には日本の物品をも集めたり樓上に出れば大瀑面前に當りて盛觀を呈す館の側らに庭園を開き其

奥に動物を豢養す一見して去る此館のある處をテーブルロックと云ふ此岸頭に出れば瀑觀最も盛快を極む此瀑は即ち加拿他瀑馬履瀑の一瀑兩名の巨瀑にして闊さ二百間餘エリエー湖の浸水濫沔奔流して瀑頭に漲溢し一齊に白水となりて奔落す勢甚た猛烈萬雷の落るか如く水勢橋下に激し迸騰して烟霧を起し暖然として半空に雲騰す日光之れに注射して忽ち巨輪の錦虹を現出し虹輪忽ち消して又現はれ向岸の樹木は恒に糝糊の中にあるあり橋下の眺水は玉を碎き雪を噴き怒號沸か如し實に像狀す可らざるの壯觀なり抑もナイヤガラとは米語にて水雷の音と云ふ義なり此に至て始て此名の空しからざるを知れり夫より岸に沿ひ小島を連接したる小橋を渡りポーニンクスプリングに至る此れは加拿他瀑の上流に當り河水島嶼の間を環注し急浪岸を打ち樹根を噛み瀉々嗚吼して流去る水底は皆滑石なるを以て水色甚だ清し島上には雜木枝を接

へて水瀬に垂れ巨材流れ來て岩角に横る猶ほ山村の溪流を過るか如く
 風致頗る佳勝なり此島中は硫化水素のある處にて一字の舎を營み舎内
 に井を穿ち此中に火を入れるれば底下の噴水忽ち火焰となりて上騰す而
 して後井中の水を小盃に汲て口に含ましむ硫黄の氣甚た強し夫れより
 車を返し加拿他の峽岸に出て下流に沿ふて馳すること二英里にして鐵
 橋の側に出つ途上或は田畝に沿ひ或は叢林の中を馳す向岸を望めは懸
 崖恰も屏風を立るか如く勢甚た峻嶮時に亦懸樓の設けあり米利堅地方此
 懸樓の場所
 橋は古釣橋と云ふ高さ二百四十五尺長さ八百二十一尺四條の鐵紐を以
 て加拿他の岸よりナイヤガラの岸に張り以て懸橋とす其製作甚た堅牢
 にして汽車道馬車道各兩線を設く此橋は一千八百五十五年の架設に係
 り入費五十萬弗を要せり此處より三百尺の上流にガンチャロバと名付く
 る懸橋あり一千八百八十三年明治十
 六年に落成せしものなり此橋は惣て鋼

鐵を以て作る高さ二百四十五尺長さ八百九十五尺此橋を合せて三懸橋
 をなし瀑布の景に添て一層の奇勝を増せり夫れよりウヲエルブーラビ
 ーに至れば又水車力に因りて懸樓を設く之れによりて峽下に至れば巨
 岩突屹として岸前に懸窟し岩頭に小舎を設け眺望に備へ且つ寫眞を賣
 る岸に沿ふて歩すれば水波咫尺に迫り巨石處々に轉磊たり此邊は河流
 最も急汗なるを以て水勢河の中心に膨脹し兩岸の水平より中心の高さ
 こと三十尺に及び怒浪澎湃して勢ひ甚た猛し此處はカピテンウエルな
 る人賭金をなして水泳を試み怒濤の爲めに覆没せられ遂に向岸に達す
 るを得ず命を水中に失ひし處なり此人曩年英佛間の海峡カレイを游泳
 して向岸に達せしことあり頗る水泳に熟達せし人なり未亡人今尙ほ此
 處に住居して瀑景の寫眞杯を賣り渡世を送ると云ふ〇元との懸樓に上
 り去り又駕して下流に馳せ盤渦溪の勝に至る此にも亦懸樓の設けあり

此處は急湍奔流して峽岸の屈曲に逢ひ一頓流却の勢により激浪驕跳し
 湖沛盤渦して回流殆と去路なきか如し漸くにして下流に奔逝す峽底甚
 た深くして岩壁峭立の間樹林相茂り巨石磊砢として水岸に堆積す亦壯
 觀の勝地たり此上流に於て沈没したるカピテンウエルの死體は此處に
 流出したりと云ふ此處より車を回し再ひ新釣橋を渡り山羊島ゴートアイランドに至る此
 處は大瀑上流の分裂する所なり此支流には三百六十尺の鐵橋を架す則
 ち米利堅瀑の上流なり橋下の水勢は疾沓射るか如く頗る危険を覺ふ樹
 林綜錯して急湍岸を嚼み橋上の景致亦佳勝なり此橋の下流米利堅瀑の
 上に小島ありシャツパンと號す曩年此橋を架設するに當り職工のシャ
 ツパンと云へるもの誤て水中に落ち將さに瀑頭に流出せんとするとき
 運命強く此島角に繋りしをロビンソンなる人直ちに小艇を浮て此人を
 援け來れり故を以て島名をシャツパンと號する由此橋を越ればパース

アイランドと云ふ處あり夫れより歩して小橋を渡りルーナ島に至れば
 巨巖磊々樹木林をなし草廔狼籍し路高低屈曲す即ち米利堅瀑の岸頭な
 り俯して瀑流を望めは白水一齊に二百尺の峽下に奔瀉して響き大風の
 如く怒沫大霧となりて嵐氣白日を濕すルーナ島とは則ち月島の義にて
 此處は月夜瀑布の烟霧に月光注射して虹をなす故に此名ありと云ふ月
 夜の景は又別段の佳趣あるへし〇一千八百四十八年此島に於て八歳の
 女兒誤て水中に落しを或る人直ちに急流に投して之れを助けんとした
 りしに二人共遂に瀑流に卷かれて亡失せしと云ふ〇此島の西に當り又
 一小島あり橋を越えて行き石階を下る數十段にして島後に出れば疊巖
 突出し此に又小橋を架し以て峽岸に接す此に出れば即ち馬履瀑の崖頭
 にて湍流沙石を浸す又上流より流れ來る所の巨材轉木堆積して岸前に
 狼籍たり此れは加拿利瀑に連接したる大瀑にして怒浪鳴號水勢最も猛

く俯瞰すれば深潭怒沫を漂はし神魂將さに消せんとす曩年サンパチと云へる人此岩頭より二百尺の峽下に轉飛し以て勇を示し續いて再ひ之れをなさんとするとき觀る人之れを止めしにサンパチ曰く人として一度之れを爲し得は再ひ爲し得可らざるの理なしと復轉飛して完きを得たりと云ふ案内者奇として之れを語る夫れより歩を回らし暫く駕して又歩し一橋を渡り三人昆弟島に至る此處は三小橋を架して三島を連接す故に此名あり島に至れば樹木路を掩ひ岩石突屹す島の前角に出れば江河天を涵し兩岸闊くして相距ること二英里巨浸瀾滌として大海を望か如し水勢漸くに迫りて流れ愈疾く百鯨浪を蹴て白雪飛亂し澎湃汧流して馬履加拿利の瀑に赴く眺望豁として甚た壯なり島の左角は裂けて三箇となり島間急瀨にて岩石處々に碎け水其上を跳越して去るナイヤガラ瀑布の勝概略此の如し其形勢の闊大にして流湍奔跳の旺盛なるに

至ては抑も豫想外の壯觀にして世界第一の大瀑と云ふも蓋し過言にあらざるへし○午後十時三十分ナイヤガラ邑を發し時に河岸を駛すれば月光汧流を照らし白玉の飛散するか如く景色最も佳なり

七日 (曇木曜)

午前六時三十分デトロイト府に達し汽車驛にて朝食を辨し此にてチカゴ府に赴くの汽車を待つ其時間に馬車に駕して市中を一覽す

○デトロイト府はミチガン州の首都にしてウロン湖よりエリエー湖に續きたる河流の側らにあり一千六百十年に佛蘭西人の發見に係り一千七百一年より始て殖民をなす一千七百六十年に英國の所屬となり一千七百九十六年に合衆國に屬し一千八百二十四年に至り始て都市をなせり此時人口僅に二千人なりしか現今十五萬人餘に及へり諸製造の業甚た盛んにして其主もなるものを擧ぐれば鐵細工、諸器械、鐵道、汽車、麥酒、

煙草、革細工、鞆等を専らとし其他尙ほ多數あり湖水によりて運河を開通し運輸最も其便を得て貿易甚だ盛んなり府内にてゼフワソン街ウードワード街は直線數十町廣坦にして左右に樹木を栽え綠陰の下人屋を列ね各餘地を存して庭園を營み優然として佳趣あり市街は惣て瓦斯燈を用ひす要地を選びて數ヶ所に高臺を起し電氣燈を掲げて四方に光輝を達す暗夜も亦白晝に異ならず○九時デトロイットを發す午後一時三十分マルシヨン驛にて午餐を辨す二十分にして發車四時ミチガン大湖を右側に看過す此邊白砂堆積して山をなし湖水渺茫として白浪天に漲る六時五十分チカゴ府に達す此に達するの前暫くミチガン湖濱を駛す巨浪前岸を打て響き雷の如く激沫飛騰して雪花を翻へす港灣は多少の船舶碇繫帆橋連立せり○ミチガン湖は合衆國五大湖の内にて第二の湖水なり長さ三百二十英里幅平均七十英里深さ平均千尺海面を抜くこと五

百七十八尺數多の河流を受け運河を以てミシシッピー河と連絡をなす而して湖流はサンローランス河を経て壓瀾海に入る湖中に數港ありチカゴミルヲケ、グランハブンを主なるものとす又二十三の燈明臺を設け暗夜通船の保護に備ふ

○市高^{チカゴ}俄府はイリノワ州の首都にして合衆國第五の都會なりミチガン湖水の西南に於て市高俄河の入口にあり一千八百三十二年の頃には僅々十二三戸の小邑なりしか同八百三十五年には人口千人に及ひ同三十七年に合衆國の一市となり同八十年に至ては俄に増殖して五十萬三千三百餘人の多きに至り今年^{千八百八十四年}に於ては六十萬人に過く可しと云ふ如此著く人口の繁殖せし處は世界に其比なかるへし此府は湖水運漕の便によりミシシッピー北方の物産此に湊聚し鐵道も二十六線の多きを加へ繁昌駸々として増進し製造の盛大なること紐育と相兄弟す製造場

の數四千ヶ所に及び此に役する職工の數無慮十五萬人に過く製造物の主もなるものは鐵鋼、馬車輪、汽車鐵道一切の具、製革、積等を主とし其他枚舉に遑あらず毎年製造する處の金高三億弗且つ市場に於て販賣の盛んなるは穀類、肉類及び材木とす一千八百八十二年より翌八十三年の間に牛十萬頭豚四百五十萬頭を輸出せり○今を去ること十四年前千八百七十一年此府に大火あり當時市街概ね木造の家屋なりしか故に炎燒三晝夜凡そ二三ヶ月間殘火全く消滅に至らざりしと云ふ當時燒失せし面積は三方英里餘戸數一萬七千四百餘戸住所を燒失せし人員九萬八千五百人死者二百人財産燒亡の高凡そ二億萬弗實に未曾有の大火にして業を失ひ産を破り飢餓に迫るもの尠からず一時困難に遭遇すと雖も其後一般に石造の家屋に改築し高樓大厦櫓を駢へ富豪踵て起り今日に至りては一點の燒跡を見ることなし一千八百七十四年再び火災に罹りしも近年の如く殘酷ならざりしと云ふ○汽車驛にて晚餐を

辨し十時發の汽車にてサンシブルに向ふ此邊より地形大に變り終夜茫漠たる荒原を駛す頗る冷氣を覺ふ

八日 (晴金曜)

午前六時二十分ミシシッピ密斯失比河の鐵橋を通過す此河は合衆國の中心を貫く有名の大河なり鐵橋も亦頗る宏大の築造なり○密斯失比河は北米に於て最も第一の大河にして合衆國運漕の綱領たり英領加拿他州の界ソベリヨ湖の西方より水源を發し南に向て流れ合衆國十ヶ州を経てメキシコ墨是科の内海に注ぐ長さ二千九百八十六英里上流に數多の支川あり其最大なるものをミスリー河とす此水源より算すれば四千五百六英里本流支派を合せて面積百二十二萬六千六百方英里沿河の地方は皆此河を仰て物産を運輸せり世界に於て南亞米利加のアマゾン河を第一の大河とし次を此河とす河の廣狹は一ならされとも廣きは二千二百尺より五千尺に

至り其深さは七十尺より千八百尺に及び最も深き所は五千尺に及ぶ所ありといふ今回予か経過せしはポーリングトンに架したる鐵橋を渡り僅に大河の寸片を窺ふのみ○六時三十分ポーリングトン驛に停車此にて朝食を喫す六時五十分發車十二時シャリントン驛にて午餐を辨す同二十分發車此邊一般に平野渺茫として一望窮りなし遠近に叢林點在し或は路傍に阡陌あり多くは小麥を植ゆ暫く進行すれば又農家の點在するあり家屋は皆板屋なり家を舉て随意に移轉をなし易からしむ是等は皆近年各地より移住せし貧民にして僅に渡世をなすものなるへし五時車中にて晚餐を辨す七時サンシブル驛に達す此にてオマハ行の汽車を待つ暫くありて此汽車に乗り九時五分オマハ驛に達し旅亭ウバクストンハに投宿す

○オマハはネブラスカ州の首都なりミスリー河に沿ふて市街をなす河

を隔てコンシルブルフ街あり鐵橋を架してオマハと相連接す一千八百八十年に人口三萬五百十八人市街は電氣燈を用ゆること猶ほデトロイト府の如し抑も此町の繁昌に赴きしはユニオンパシフィック鐵道會社の稱號鐵路の盡くる處にして諸方の鐵道皆此線路に通し鐵路輻湊の中心なれば各地往來の乘客皆此に足を留るに因り荒漠の僻地も速に此繁榮を來せし所以なり○製造所も亦尠からず就中鎔鐵所の廣大なるは米國第一と稱す此邊は土地も亦耕鋤に適し路すから玉蜀黍トウモロコシ隴に滿ち汽車の駛行凡そ二三十分時間も該穀の繁生して間斷なき處あり

九日 (晴土曜)

午前八時此地を發す十一時二十五分リンコンに停車午餐を辨す十二時十分發車五時四十分アンボイに停車晚餐を辨す終夜荒原を駛す

十日 (曇日曜)

昨夜來漢野千里一樹影たも見ることなし午前六時前に及ひ始て樹木及び民屋の目に觸るゝあり此地方は諸礦物を多く産出すと云ふ六時十五分デンバに着車此處にて朝食を喫し他の汽車に移る

○デンバはコロラド州の首都にて南プラット河の南方に位す此地は落機山キミシヤンの麓を去ること十五英里にしてミスリー河の南方五百英里を隔つ山嶽の眺望は此地の名勝たり一千八百八十年に人口三萬五千六百三十人現今は四萬人に過ぐへしと云ふ此れよりデンバリョグラデー鐵道會社の鐵路となる此鐵路は他に比すれば狭少にして製作も亦粗なり線路は落機山中荒漠無人の境に架設し長さ七百英里入費凡そ二千萬弗を要せりと云ふ六時五十分デンバを發す十二時三十分車中にて午餐を辨す一時ロヤルゴトジュに進行す此處は落機山に入る鐵道の門戸なり兩崖の山は盡く赭巖兀石にして萬尋削るか如く眼下は谿流の急湍をなす

あり駛行凡そ四十分時間にして奇石壁立の間を脱し平岡緩坡の下を過ぐ巨幹の老松は谿岸に躍立し岩石磊塊として澗流を遮る風致甚た好し須く進行して車を停ること數分時此にて器械車を増して二輛となす是れより有名なる落機山に入る懸崖雲を突て半空に聳え奇巖傾突して頭上に落るか如し峻岩の間或は孤松を生し又或は小瀑の注くあり山路危兀として傾斜甚た急なり谿には橋を架し迂曲縈回して昇る車輪は時に軌轢を生し響き轟々たり此邊峻嶂奇絶の名勝なれば車の後に屋根なき車を付し木榻を聯置し數十人を坐せしむ可く豫め上等客に與ふるに赤色の切符を以てし此切符を持ちしものは此車上に出て此景色を眺望せしむ漸々深壑に進む既に數英里峻峯涌起する處白雪玉を研き萬尋の澗下泉流白布を晒す景勝奇絶にして伏仰願眴倦を忘る漸く高壑に至れば雪嶺近きにありて氣候次第に冷濕を覺ふ然るに松樹密生して處々に深

林をなし雑花は頻りに路傍に開く此荒寥岑寂の山頂にして園林の風致あるは甚た意外の觀と云へし此邊は近年大火ありし由にて松林枯焼となる處多く宛も冬郊に林梢を望むの觀をなせり鐵道の頂上に近づくに及んで處々に雪覆ノースレックの設けあり板にて圍ひをなす此を過くるは隧道の中を駛するに異ならず是れは大雪のとき前路の積雪を掃除する時間此に汽車を止め鐵路の通するを待つ爲めに設けたるものなり恒に人夫を役して線路の掃除修繕等に怠ることなし頃日炎天の候も二週間前には此邊忽て積雪ありし由然るに碧草芳花の娟々たるを見るは殊に奇と云へし五時二十分鐵路の最高頂に達す茲には最も廣大なる雪覆あり此にて十分時間停車し器械を外つして一輛となし其車輪に水を打つ山麓より此に至る迄恒に坂路を攀ち車輪焼けて火の如し此處は水平を抜くこと一萬二千尺の高上にありて冷濕頗る甚し此の如き高山の上なれとも岡

坡起伏して曠平の原をなす處多し五時三十分發車是れより降路となる雪覆の設け尙ほ處々にあり車窓より願望すれば頂上既に數千尺の上にありて雲烟半は鐵路を掩ふ六時四十五分サインにて停車二三の人家あり此にて晚餐を辨す七時發車九時頃より山勢次第に峻隘となり最前の登路の如く峻岩白雲の崩るゝ如く懸崖壁立の坂路を下り過ぐ車窓朦朧として景致分明ならされとも峻嶮の奇勝は既往に勝るものゝ如し汽車の駛下は射るか如く夜中ながらも頗る壯快を覺ふ十時強峻坂を駿走し去り凡そ夜半の頃より廣漠たる山原を駛す白砂渺茫として岑寂を増せり

十一日 (晴月曜)

午前四時グランジョンクジョンに停車此に至りて聞く水害に依りて前路鐵道の損しありと依て修繕の整ふを待つ七時二十分矮陋なる小肉店

に入り朝食を辨す蒼蠅四壁に充滿す幸ひ冷氣により食菓の上に翻々せす此處は多少の人家あれとも概ね沙漠にして一樹影なく驟雨來れば忽然汎濫たる河流をなし鐵道を蕩壞することあり前路鐵道の損しも亦此に因れりと云ふ故に此邊は淤泥濕澤の狀をなす處多し昔時はナイヤガラの如き大河浸にてありしものならん暫くありて前路より來る汽車に逢ふ即ち修繕既に整ふなり八時予か車も亦發す漸く進めは砂山處々に凹凸をなし數百尋の巖障或は裂て屹立し或は天然の棧橋を架し又は欠壁長堤の形をなす汽車は常に砂山の間を駛下し瞬間萬態の異景を現す十二時四十五分グリーン河橋を過く同五十分グリーンリハートに停車此にて午餐を辨す一時十五分發車尙ほ砂山の間を走る五時前より城門の峻隘を駛す巖壑疊々奇石緒巖争て相聳え猛虎嘯くか如く勇熊怒るか如し或は千尋の斷壁をなし或は長城の形をなす仰き見れば巖岩車上に崩るゝ

か如く黒烟巖崩を突て勢甚た猛烈なり伏して甍下を視れば老松雜樹相交て岩頭に繁茂し樹下には一條の谿流を注ぐ實に奇絶の壯觀なり五時三十分城門の隘を脱し尙ほ峻壁の下を駛す須臾にして山狀大に變はり兀山嶺に變して忽ち青巒の湧起するを見る此邊より稍や又登路となり器械車を増して二輛とす六時前テンビンアレーに停車木造の民屋數戸あり西印度人及ひ支那人も亦住居す此にて器械車を撤して一輛とす暫くして發車エターの湖水を見る八時五十分プロポーに停車晩食を辨す同二十五分發車十時十分鹽湖府ソルトレイクに達し直に旅亭ウツルカハに投す〇一昨九日朝オマハ府を發して以來此に達する迄三晝二夜に過く此間漠野千里概ね目に遮る樹木なく飛鳥も見ることなき荒草砂石の中に只一線の鐵路を通するのみ凡そ數十英里毎に兩三の驛舎あり此には僅に食菓を備へ酒醬を具し車客の求めに充るのみ中には地を開鋤し牧畜樹藝をな

し村落の景況をなす處あり頃日幸に天曇り甚しき炎暑に逢はされとも亦頗る疲勞を覺えたり○ソルトレイキとは鹽湖と譯す湖の長さ七十五英里幅三十英里海面より高さこと四千二百尺中に六箇の島嶼を點綴す其最大なるものをチヨーチ島と云ふ河流數條を受くれとも皆湖中に止りて他に流出する水路なし水は鹽氣を含むこと甚た強く鱗族も生息するを得すと云ふ環湖の山は皆赭色の岩嶒にして草木を生せず四顧曠漠として風致あることなし

○鹽湖府はユター州の首都なり北緯四十一度三十分西經百十四度に位し人口二萬餘地形は湖濱の平野にして湖を隔る東北凡そ一英里餘東は落機山の餘脈颯鬱として遠く嶂嶺を走らし西は平野豁然として中に大湖を開く府中に一河ありヂョルダンと名付く市街は縦横井々として兩側に樹木を栽え馬車道人道を分つ南街數丁及メン街テンブル街等を主

もなる町とす地域甚た廣げれとも稍や繁華なるは三四條に過ぎず南街二番町にモルモン宗の本寺あり此寺は府中に於て最も著きものとし其他多少の寺院劇場モルモン宗の祖ブリカムの邸第等あり市外の山に沿ふて鎮臺あり此地は一千八百四十七年今去る三十七年前迄は世人の知るものなかりしか同年モルモン宗のブリカムと云へるもの宗黨を率ひて始て此地に住居を定め以て一都邑をなせり土地甚た礦利に富むを以て近年頻りに繁庶に赴けり

十二日 (晴火曜)

午前十時より駕して巡覽すモルモン宗の本寺に至る○此寺はタベルナコルと號す夏時専ら宗法を執行する處なり建築は石柱四十六個板を以て屋根とし楕圓形にして上に圓塔を起す全堂の長さ二百五十尺幅百五十尺中は一柱を用ひす一萬五千人を座せしむへし正面に巨大なるオル

ガン^琴風を仕掛け三面を廻樓とす此廣堂の中に於ては微細の物音と雖も響き耳底に達す試に正面風琴の前に於て小針を坐下に落とせは二百五十尺を隔たる向ふ側にありて其音忽ち聞ゆ結構美麗ならされとも亦宏大なる建築なり○モルモン宗は耶蘇教より分れたる一種の異教なり宗外の人は皆擯斥して邪教となせり此宗教は多妻を娶るを以て宗法の本旨とす始めは其定限をなすにもあらずしか一千八百五十年宗派の議會に於て五人以上を定則とし其以上は幾人を娶るも宗旨に於て妨げなきことに議決し派中一同之れを實施せりと云ふ此元祖はスミスと號しミスリー地方に住居せしか土人と争ふて殺戮せられしより派中に於てブリカムを選舉して法主となせり而してブリカムも亦此地に止まるを得ずして他に移轉す可き相當の土地を撰擇せしめ遂に此鹽湖の地を發見し一千八百四十七年七月二十四日に於て宗黨舉て此地に移轉し以來

漸く市街をなすに至れり當時ブリカムは十九人の妻を娶り現今法主の妻は五人ありと云ふ此の宗教も一時は州内及び新墨^{ニューメキシコ}是科部等に流布し信教の徒二十萬人に及び漸次蔓延の勢あるにより米人之れを憎むこと最も深く遂に國會に於て從來信徒の外は宣教を禁止するの法律を布くに至れり○タベルナル寺の傍らに又新たに一大寺を造營す現今専ら建築中にて惣て白石を以て築き其規模は更に本寺より廣大にして入費一千萬弗の豫算なりと此山陬の荒都且つ二十萬人の信徒にして更に斯る大寺を起す宗派信仰の厚き亦意外と云へし○駕してブリカム邸宅の傍らを過く此邸第は府の東北なる山嶠にして街に跨り地域を占め規模頗る壯嚴なり此中に家屋ありチシガハウス、ビーハイス、ハウス、ラヨンハウム、宗教上の公廨とす此家屋は即ちブリカム十九人の妻と共に住居せし處にして現今の法主も亦五人の妻を携へ此に住居せり夫れより岡坂

を登り行々願望すれば府街は目下により遙に鹽湖を望めは湖水一碧天を浸し湖濱の平野は鹽塊結晶し日光に映して閃々たり○此岡上をキャンブドグラスと云ふ市街より二英里を隔つ此に砲臺を築き兵營を設く即ち合衆國常備兵鎮臺の一にして西印度土番の警備に充てし堡壘なり要害の地にして西方湖濱の野を俯瞰す此には歩兵砲兵等五百人を屯在せしめ大砲を並列せり○山を下りて歸路一の博物館に至る一字の小室にて表皮乾藏の魚鳥獸及び礦石其他多少の物件を集む館内に岩倉前右府の寫眞を藏せり數年回覽の時賜はりしものならん○午後四時四十分此地を發し桑方斯^{サンフランシスコ}西^シ哥^ゴに向ふ又漠たる荒野を駛す山巒時に紛錯し一の樹木を見す六時オガンに停車此にて汽車を乗り替へ七時十分發車八時車中にて晚餐を辨す深夜茫靄たる沙原を駛行す頗る荒寥たり

十三日 (晴又曇水曜)

曉來尙ほ荒野を走る沙山散起する處峯頭白雪を存す山嶺甚た高からざるも平地尙ほ海面より四五千尺の高きにあり七時四十分エルゴに停車朝食を辨す八時發車山脈離散し遠山落々として連嶂を見す野に寸影の樹木なく又一線の泉なし海藻の如き野草莽々として滿面沙中に生し恰も潮水の乾燥して海底を現はしたるか如し土質は總て灰の如く更に潤澤の氣を帯ひす此荒寥たる沙漠中に多くの兎あり野草の間に出没し汽車過ぐる處群をなして馳走す此邊に生する兎は毛色總て薄鼠色をなす又時には一種の野犬あり其形ち海狗に似たり本日は朝來酷暑の景況なりしか天曇り炎熇幸ひに甚しからす八時十五分レーノに停車晚餐を辨す同四十五分發車終日漠々たる沙原を駛走し沙塵衣に滿つ車中にて屢々衣服を拂ひ且つ盥嗽をなし以て一時汚塵を除く加之終日一樣の荒原にて頗る倦厭を覺ふ十時頃より谿流に沿ふて駛す漸くにして山に樹影

を見る夜半來岡巒重疊し時には巖崖の峽路を駛行す漠野漸く變して次第に青巒の野に移る

十四日 (晴木曜)

曉四時頃よりセクレタウンの谿面に入り長棧橋を過く山は疎林をなし巖石處々に露はれ棧橋は高く架して兩山を連接し眼下は千尋の深谷をなす車聲轟々として睡眠を驚かす此邊は眺望總て奇絶のよしなれとも惜むへし昧曉にして景色分明ならず七時薩列明度府の驛に停車此府は加里福尼州の首都なれとも市街甚だ繁昌ならず驛路は樹木繁りて枝條高く聳え清蔭鐵路を掩ふ此邊は一般沮澤の地にて四郊に池沼多しと云ふ此驛にて朝食を辨す七時二十五分發車車窓遙に加利福尼の州會議政堂を望む圓塔巍然として雲外に聳ゆ九時二十五分ウベネシヤ驛に着車す

○ウベネシヤは人口千百餘人の一市街なり此處より海上二十英里の間汽船に汽車を載せてオークランドの驛に渡る此汽船には鐵道四線を具し陸地の線路と平均密着せしむる構造なり船の用意整頓せは汽笛を揚げ鐘を鳴らして合圖をなし汽車は徐々として船中の鐵路に進行す全車船中に入れば船は纜を解き忽ち運轉を始む汽車に乗りし儘船中に坐して二十英里の海上を渡る實に意想の外に出たり十時オークランドに達し船は最前の如く陸地の鐵路に密着し汽車即ち發す

○オークランド驛は人口三萬人を有する市街なり桑港と海灣を挟み對岸の地にあり前は金門の海口に向ひ背は岡巒を負ひ風景佳勝の處たり此町より二英里餘の長棧橋を築く汽車は此棧橋を盡して停る是れより桑港迄三英里の渡船あり鐵道會社に屬す○此棧橋を駛行して小汽船に移る岩島遠近に突兀し桑港の連疊は遙に烟霞の中に顯はれ眺望甚だ雄

壯なり十一時二十五分桑港に達し駕して旅亭パラッスホと號すに着す于時十一時三十五分なり

○桑方斯西哥港は加利福尼州の大都會なり北緯三十七度四十六分三十五秒西經百二十二度二十三分に位す合衆國西海岸の要港にして太平洋を隔て正しく我日本磐城國相馬の岬と相對す港灣は海底甚た深く南方六英里の外に金門の海口を控へ其地勢は半島にして背に岡巒を負ひ太平洋の濱と桑港灣の海水とを隔て其裏面に市街を開く南方は白沙岡坡をなし新開の市街は沙壤尙ほ全く修固に至らざる處あり此府合衆國の所轄に入りしは年尙ほ淺し抑も一千七百七十六年今を去る百四十年前にサンフラ
ンシスと唱ふる宗派の内西班牙の僧侶二人始て此地に來りて耶蘇教を開き一千八百二十五年に至り千八百人の西印度人を此宗派に歸依せしめ而して盛んに牧畜の業を行ひ當時牛七萬六千頭羊七萬九千頭を牧養

せり其後殖民政府より僧侶の所有する土地の制限を立てしより僧徒の勢ひ大に衰頽す一千八百四十六年三十八年前合衆國の所轄に入り其翌四十七年我嘉永元年には人口僅に四百五十人なりし此時迄は此地名をエルバブエナと云ふ義なり蓋し市街の在る處昔は藥草多く生せしと云ふ同四十八年金礦の發見より遽に四方の礦業人相集り同五十年嘉永四年には五千人の邑をなし六十年萬延元年には五萬五千六百二十六人に至り七十年明治三年には十四萬九千四百七十三人に及び八十年明治十三年には二十三萬三千九百五十六人に増加せり今を距る僅に十五年六年前迄は現今熱鬧市街のある處も概ね沙壤未開の地多かりしに今は高樓雄閣巍然として櫓を連ね富豪大家櫛比するに至る其繁昌の速かなる世界に其例を見ず金礦發見以降來住する者は英倫愛蘭日耳曼佛蘭西支那人を主とし支那人は無慮四萬口に及び別に支那街を設け専ら商業を營み寺院及び劇場をも開設せり市店は惣て豪壯にして五層六層の

高樓を連築し逆旅の如きは八層九層に及ぶ者あり街路能く修り寛廣にして直く大路は二十間中路は十五間井々法規あり主眼たる建築は運上所造幣局商人集會所劇場病院學校寺院等數多あり寺は中央の區にあるマソニックテンブル寺を最も宏大のものとする寶珠形の双塔高く屋薨の外に聳え府中の目標たり○産物は陸には葡萄林檎桃李等あり海には鮭魚牡蠣等あり製造は毛織麥粉鎔鐵木挽等の場所を主とす日用品は他に仰くもの多し○當港は一千八百七十年にユニオンパシフィック鐵道の開けしより歐羅巴及び亞細亞の交通貿易甚た隆盛に赴き一千八百七十四年に入船の數四千三百四艘噸數百五十五萬三千噸同八百五十九年に金礦採出の高四千九百二十八萬六千二百七十五弗同七十六年に金を輸出したる高五千萬弗其他輸出の品は大小麥麥粉水銀荒銅煙硝草獸毛等を主とす此金高三千百三十一萬五千弗又同年輸入の品は米砂糖石炭

鐵咖啡茶葡萄酒火酒綿其他の製造物等とし金高一千六百萬弗なり○予か宿せしパラッスホテルは縦三百五十尺幅二百七十五尺九層の大建築にして客室數百を備へ造營頗る精工なり下層は書記房の外は總て借店となし酒菓烟草及び衣飾寫真等を販賣す街上に廻廊を懸てグラントホテルと接続し正面巍然として相對す此建築及び諸道具を合せて入費三百二十五萬弗を要したりと云ふ

十五日 (晴金曜)

午前十時領事立田革來訪午後二時書記生字田川三郎の案内にて動物園を回覽す夫れより駕して市街を巡遊し午後五時三十五分旅寓に歸來す○動物園はウードウョードガーデンと號す多種の禽獸魚虫を養ふ珍獸異鳥等多くは表皮乾藏となして陳列す魚虫も亦然り水族館及び音樂堂の設も備れり庭園は樹木能く繁り碧草を蒔き或は花紋を造る風致最も

清淨なり

十六日 (曇土曜)

本日は終日在宿して長途の疲勞を養ふ○夜に入り旅寓の前街に隊列歩操して過くるものあり即ち米國の義兵なり此國の制たる多く常備の兵を設けす市野共に人民平常兵を講し若し不虞の警めあれば乃ち赴て軍に加る之れを義兵と名付く予か滯留中も屢々隊列を組て市街を徘徊するを見受けたり

十七日 (曇日曜)

午後二時駕して金門園及び岩亭キリッパースに至る○金門園は市街の西に當り山によりて園を開く面積殆んど二方英里清闊なる馬車道を通し碧草一面松樹處々に繁茂し規模開豁なる遊園なり園内には大なる花窖あり倫敦キウーガーデンの花窖に擬したるものと云ふ又清麗なる建物及び音樂堂

あり故大統領ガープヒールド氏の像を安置せり○岩亭に至る此處は桑港の近傍に於て最も壯觀の場所たり市街を距ること六英里太平洋の濱にて巖石突出したる岸頭に家屋を建つ即ち岩亭なり此には美麗なる食堂を設け以て遊客を待つ前に露臺を造り眺望に備ふ此岸を距る凡そ七八十間の海中に二三の巖礁ありシールロックと云ふ此岩頭に無數の海豹カヤルと號す群游し或は叫ひ或は睡り又は海上に出沒す前面は汪渺たる大洋にして波浪天を浸し北には金門の景を控へ峻壑雲烟を帯ひ南は岡坡相連りて石沙濱をなす眺望甚だ開豁にして巨濤屢々岸下を打ち飛沫雪を散して數丈の上に翻へる頗る壯觀たり本日は日曜日より府中の男女或は馬車に駕し或は駿馬に跨り盤遊をなすもの夥く亭内甚だ雜沓せり○歸路に支那街を通過す此街は米人と別に區域をなし支那人凡そ四萬人自由に居住をなす此地内に劇場二ヶ所寺院二ヶ所あり劇場には

支那人男女阿片を吸ひなから演技を見る甚だ雜沓不規則なり又別に一箇の吸煙所及び博奕場を設くと云ふ市街は屋造美ならず道路修らず過る處甚だ不潔なり

十八日 (晴月曜)

午後三時より駕して内國勸業博覽會に至る百般の器械及び農具を主とし日用器具服飾其他萬般の物品を排列す列品甚だ夥し就中農具には種々珍らしき新發明に係るもの多く枚舉に遑あらず温度を以て鶏卵を解す器械あり傍らには鶏卵を堆積し無數初生の雛相集り咬々として啼く都人老幼男女日々來觀するもの甚だ多く此日も場内に充滿せり○歸路市街を巡覽す當府も鐵道街車の往來甚だ繁し就中馬を用ひず市街の兩端に器械を据え護謨網を地底に通し以て東西南北に相馳す他より之れを見れば街車自ら地上を獨行するものゝ如し目今又電氣を用ひて街車

駛行するの目論見をなすものありと云ふ米國人智の競争實に愕くへし五時寓に歸る○此地に至りしより氣候恒に冷氣にて甚だ凌き易し夜は外套を用ゆる程なり

十九日 (晴火曜)

本日此地を發し太平洋を航し直ちに歸國の途に就かんとす留守邸へ本日乗船の旨を電報す○午前十一時二十分太平洋飛脚船アラビック號に搭載す立田領事等送別す午後二時二十分解纜暫くありて金門を經過す金門の形勢たる北はラメルハス山の麓海岸に流れて岬をなし南は岩石黒色を帯ひ巖礁突兀として北岬と相對し門戸の形をなす此間廣さ三百間に過ぎず茲に燈明臺及び砲臺の設けあり西は大洋汪洋として天を涵し吾か郷國は將さに直西の對岸にして一物の遮るものなく只海程の甚だ遠隔なるのみ本日は天色清朗なれとも金門の山頂半は雲霧朦朧と

して山色分明ならず

○太平洋は五大洋の内に於て最も廣大にして他の四大洋を合せたるよりも尙ほ廣し東は亞米利加西は亞細亞澳大利亞に接し面積凡そ八千萬方英里島嶼も亦尠からず斷島或は連島あり而して世人の知る處に於て最も深きは北緯十一度二十四分東經百四十三度十六分の處とす此深さは五英里に過き地球上最高山と其程を同す一千五百十三年九月バルボアと云へる人始て此海を發見し同五百二十一年マゼランと云ふ人始て之れを航行せり以來數十年を経るも洋中を詳悉するものあらざりし其後カピテンクック其他數人稍や測量に着手したることありし降て一千八百七十三年より同七十六年の間に於て英吉利政府より軍艦を派して詳に之れを測量したりと云ふ○今回の飛脚船はアラビックと號し英國飛脚船會社に屬す船體及び構造等普通の船たるにより別に記載す可

きことなし船客の中には吾か國に航するもの多く或は上海に行くものも亦あり今回は船客甚た多からず上等客は予か一行を合せて二十名に過ぎす下等には支那人充滿し日々群をなして博奕をなせり

二十日 (曇水曜)

昨夜以來船動搖す午前に至り漸く輕し○昨十九日午後二時二十分解纜より今二十日正午迄進行二百十七英里

二十一日 (曇夜雨木曜)

曉來風浪穩なり○昨二十日正午より今二十一日正午迄進行二百四十二英里

二十二日 (雨夕晴金曜)

曉來船動搖す○昨二十一日正午より今二十二日正午迄進行二百五十六英里

二十三日 (晴土曜)

風波穏なり○昨二十二日正午より今二十三日正午迄進行二百三十三英里

二十四日 (曇夕雨日曜)

風浪起り船動揺す○昨二十三日正午より今二十四日正午迄進行二百三十九英里

二十五日 (晴月曜)

順風に帆を揚く舟行穏なり○昨二十四日正午より今二十五日正午迄進行二百六十七英里

二十六日 (晴火曜)

順風舟行穏なり○二十五日正午より今二十六日正午迄進行二百六十四英里

二十七日 (曇又雨水曜)

逆風昨夜以來船動揺す○昨二十六日正午より今二十七日正午迄進行二百七十一英里

二十八日 (曇木曜)

逆風時々烟霧あり○昨二十七日正午より今二十八日正午迄進行二百六十一英里

二十九日 (晴金曜)

逆風波高く桑港を發して以來本日は最も動揺甚しく食堂の案上に器皿の隔を設け轉倒を防ぐに至る○昨二十八日正午より今二十九日正午迄進行二百四十四英里

三十日 (曇又雨日曜)

本日は元來八月三十日にて土曜日に當る日なれとも地球を西に廻り亞

米利加より太平洋を歸航すれば一日を減す此減日の交は則ち英國綠威
 より東經百八十度の交を以てす若し又地球を東に廻り太平洋を亞米利
 加に航するときは一日を増す是れを以て航海曆に合し東西陸地に於て
 一日の差違なからしむ本日は則ち百八十度の交を過るを以て一日を減
 し直ちに三十一日となし曆法に合したるものなり○本日は風波稍や穩
 なり午後より順風となる○昨二十九日正午より今日正午迄進行二百三
 十九英里

九月一日 (曇又晴月曜)

昨夜以來順風にて舟行快然曉來風路稍や北に廻り數帆悉く張る○昨三
 十一日正午より今九月一日正午迄進行二百九十五英里
 二日 (曇火曜)

順風快然始て群魚を見る飛躍船を逐ふて來る此魚は即ち海豚イナカなるもの

なり桑港を發してより洋中目に觸るゝはカールと號する鳥吾か國にては振天翁又アホ
も云ふあるのみ地方を離るゝに従ひ益多く洋面を家とするものゝ如く
 船に近づきて群飛す船中甚た無事にして只此鳥の飛遊するを見るのみ
 時に一詩を賦す

萬里長風吹客衣洋中獨有我船歸此間無物遮吟眼只見恠禽掠浪飛

三日 (晴水曜)

天色清明順風に帆を揚げ舟行穩なり○昨二日正午より今三日正午迄進
 行三百十九英里

四日 (晴木曜)

南風帆を揚く船傾斜疾行す動搖又稍や強し本日は白き小鳥洋面に群飛
 す又時には立魚の飛を見る夜來月色清明錦波漾々として舟行射るか如
 く甚た爽快たり桑港解纜以來本夜の如き天色の快朗なるは未だあらさ

るなり○昨三日正午より今四日正午迄進行二百八十三英里

五日 (雨又晴金曜)

昨夜半より天陰り南風強く船動揺す進行疾しと雖も傾斜頗る甚し十二時前大雨來り南風頓に西に變す須臾にして雨歇み雲散す夜來風浪能く收り天清く月明に風景昨夜に異ならず○昨四日正午より今五日正午迄進行三百十二英里

六日 (晴土曜)

曉來北風に斜帆を揚ぐ午後より海上甚た穩かなり凡そ三時頃吾か國の一島遙に雲烟朦朧の中に顯れ衆皆甲板に出て遠眼鏡を以て之を見る四時頃より遙に安房國銚子港及び大坊崎等を見る地方に近づくに従ひ漁舟遠近に點在し又八丈島も近きにあり○昨五日正午より今六日正午迄進行二百三十三英里

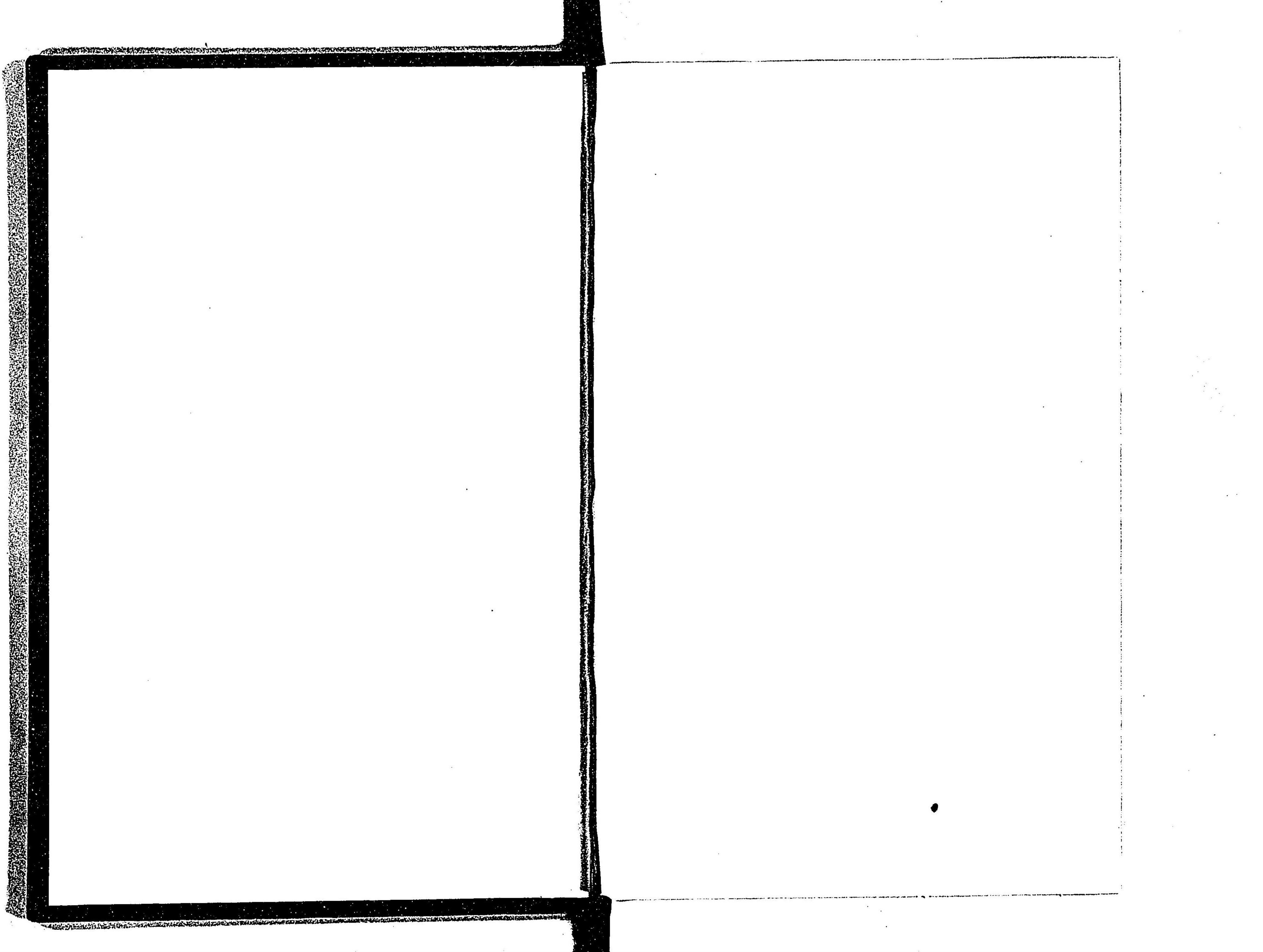
七日 (曇又晴日曜)

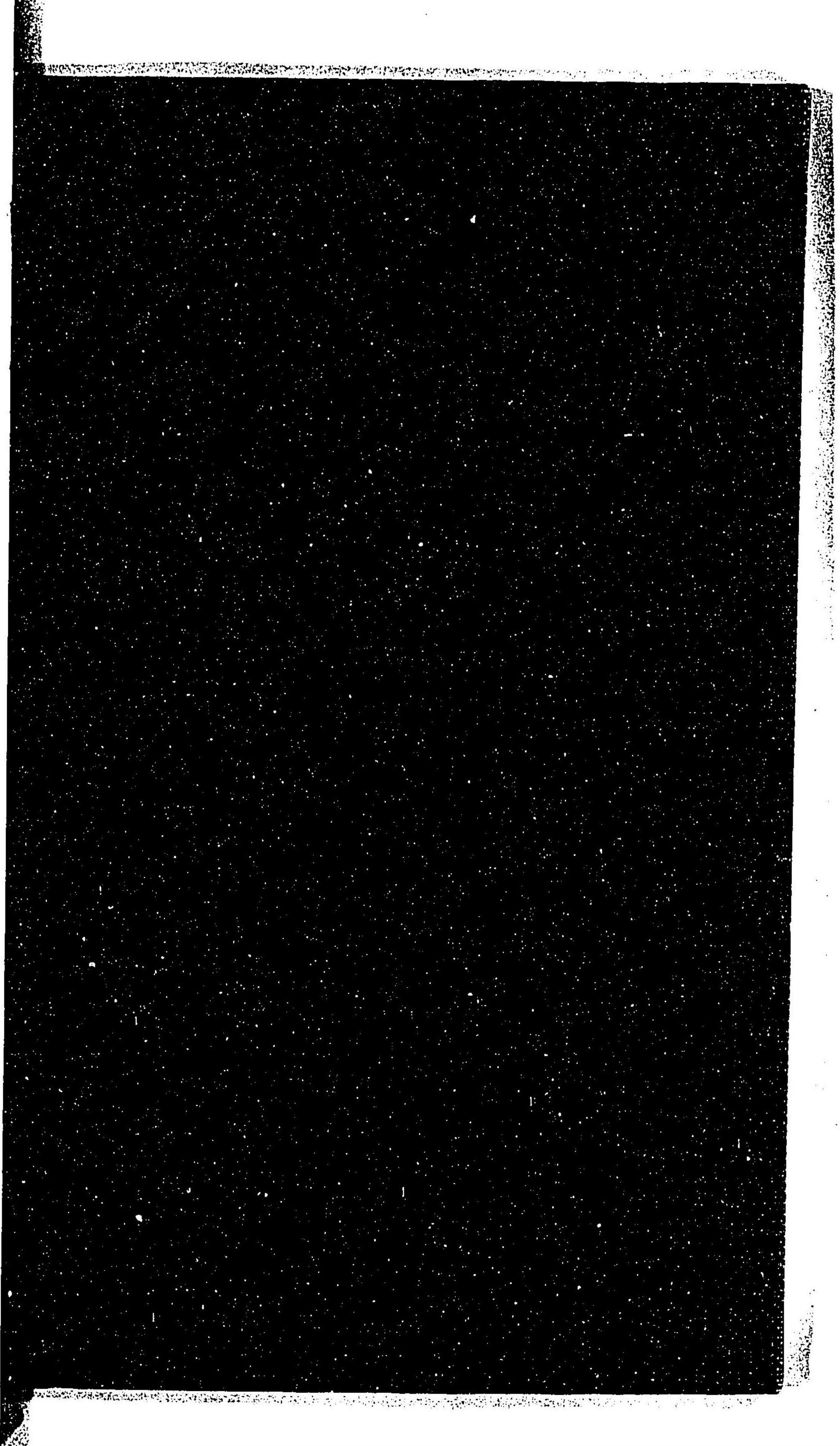
午前二時横濱灣に達し錨を投す予か歸朝を祝する爲め檣上に吾か國旗を掲ぐ外務省より吏員を派出し小汽船を以て予を迎ふ且つ舊藩士及び家職の輩は夜未だ明けざるに本船に來迎せり午前七時上陸し東海鎮守府にて暫く休憩し夫れより富貴樓に至り來迎の舊藩士等と共に朝食をなし十一時發の汽車に乘し十二時東京に着す新橋停車場には家族親戚知友及び舊藩士等數多出迎す直ちに外務省の馬車に駕して本邸に歸着す

海外日録終

計4H40







290.9
A893k

021862-000-3

290.9-A893k

海外目録

浅野 長勲/著

M17

ADA-0060

